

The Salary Analysis in Asia

ザ・サラリーアナリシス イン アジア

アジア 9 か国の中途採用時年収調査

2023

About this Report | 本レポートについて

私たち JAC Group (ジェイ エイ シー グループ) は、1975 年に英国で創業し、アジアを中心として世界 12 か国に展開しているリクルートメントコンサルティング会社です。主に各業界の専門職や管理職、エグゼクティブクラスのポジションを得意領域として手掛けて、アジア全域において日系人材紹介会社としては最大級の実績を上げております。また日本のオペレーション単体では、人材紹介事業専業としては最大の東証プライム市場上場企業です。

アジアでの長年培われた経験と実績に裏付けられた最新の現地情報を基に作成されたこのサラリーアナリシスは、毎年大変なご好評をいただき、本年も最新版を発行いたしました。

特にお取引の多い日系企業に関しましては、求人において必要とされる言語別の詳細も掲載させていただいております。

アジア各国でコア人材の中途採用をご検討される際に、本書が皆様の一助になれば幸いです。なお、人材の採用条件は、個別性が高く、基準値を示すのが難しいという点もございますので、疑問点やご指摘等につきましては、個別にご相談にあずかせていただきました上で、次年度以降に反映させていただきます。

表の見方

外資系企業	(ローカル資本以外の) 多国籍企業を示す。主に欧米系中心。
ローカル企業	該当国資本の企業を示す。主に大手を想定
ローカルスタッフ	通常のローカルスタッフを示す (ビジネスにおいて英語・日本語等を使用しないポジション・人材)

- ・ 主に、当社に寄せられている求人の年収をベースに、当社のコンサルタントの情報を加えて作成。表の数値には、当初に予測不可能なボーナスやベネフィット類は含まれていない場合が多い。
 - ・ 事実上マーケットがあまり存在しないと思われる区分については、「N/A」(該当無し) と記載。
 - ・ 表に付記している為替レートは 2023 年 3 月 22 日現在。各国・業界のコメントは 2022 年秋・冬時点の情報。GDP 等の経済統計は断りがなければ原則として IMF World Economic Outlook, November 2022 の 2023 年 予測値。
 - ・ 「日本語スピーカー」は英語を話せるケースと話せないケースの双方を含む。
- ※ 原文は日本語です

免責条項

当社は、利用者が本レポート上の情報を用いて行う一切の行為について、責任を負うものではありません。情報の利用につきましては、御自身の責任において行なわれるようお願いいたします。

本レポートに記載されている情報については、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。従って、業界全体、市場全体の実際の数値はこれらと異なる結果となる場合があります。また、人材紹介マーケットは限られたポジション・人材による個別性の高い取引であるため、数値の変動が大きいことがあります。

また、最低賃金をはじめとした法的規制に関する情報については、マーケットの概要を目的として記載しているものであり、法的な正確性を保証する目的で記載しているものではないため、ご自身の責任において利用されますようお願いいたします。

Table of Contents | 目次

本レポートについて..... 2

目次 3

特集 4

国別情報

シンガポール 5

マレーシア 16

インドネシア 30

タイ 42

ベトナム 51

インド 62

中国 70

中国香港特別行政区 81

韓国 92

日本 101

JAC Group について 112

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



Topics | 特集

多くの国で既にCOVID-19前を上回る アジアの求人熱

2022年末時点でのアジアのホワイトカラー新規求人の動向は、多くの国でコロナ禍前の数値を大きく上回るものになりました。

具体的には、2022年7-9月期のJAC Recruitmentへの新規求人数を、COVID-19の影響を受ける前である、3年前の2019年の同時期と比較すると、アジアの10か国／地域において、3か国／地域を除き、上回る数値になっています。

病原体としてのCOVID-19の蔓延自体はおよそ収束を見せる気配はありませんが、重症化を防ぐためのワクチン・治療薬・医療体制などの整備が進み、また、厳しく制限されていた各国間の往来もほぼ従前の自由を取り戻したこともあり、各国内の経済活動、さらに、国際間での経済活動もCOVID-19前の勢いを取り戻したといえるでしょう。

他方で、COVID-19のパンデミックにより奥に隠れていた、COVID-19の発生前からの世界的な課題である、米中貿易摩擦（デカップリング）、テーパリング（金融緩和出口政策）による金融引き締めといった大きな問題が再び注目を集めることとなり、今後の状況は予断を許さない状況です。

しかし、少なくとも2023年初の目下の現状では、各国での採用競争はごく一部を除き衰えるどころかさらに激化する方向であり、アジアにおける採用活動の重要性は高まっており、多くの経営資源の投入が望まれる状況になっています。



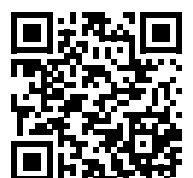
SINGAPORE

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



シンガポール

84,500

US\$ 一人当たり GDP

2.1%

失業率

(2023 IMF)

2.3%

経済成長率

(2023 IMF)

3.0%

消費者物価上昇率

(2023 IMF)

経済動向

名目GDP：4,472億米ドル。

実質GDP成長率：7.6% (2021年)。3.0%(2022年)。2.3%(2023年)。

消費者物価上昇率：2.3%(2021年)。5.5%(2022年)。3.0%(2023年)。

人口：564万人 (2022年6月末)。COVID-19による2年連続での減少から増加に転じた。人口の約4割が外国人(1割の永住権保持者含む)。

雇用者数：349万人。

2022年はコロナ禍から経済が回復。入国規制緩和を追い風にサービス業（観光・航空・飲食・小売りなど）が活況を呈し、景気を押し上げた。2022年第3四半期の国内総生産（GDP）成長率は前年同期比4.1%。通年の成長率は3.5%になると予想。

景気回復で労働市場が活性化したことにより、シンガポール国民の失業率は減少。労働生産性も上がっている。

引き続きシンガポール人優遇の雇用政策は継続されているものの、今後の国の発展のため、「世界のトップクラス人材の誘致、維持、育成」を目的とした新たな就労ビザ「Overseas Networks & Expertise Pass (ONE Pass)」が発表され、月額給与30,000SDollar（約300万円）以上のトップクラスの優秀層を対象に、2023年1月からの導入が予定されている。

コロナ禍で一旦停止を余儀なくされていたチャンギ空港ターミナル5などのインフラ整備等が再開。今後数十年にわたる都市開発が進められる。税込確保のため、現行7%の消費税（GST）が、2023年1月から8%に、2024年から9%に引き上げられる。



自国民の雇用保護



地域統括本社

採用動向

公用語は英語であり国際競争力が高い。労働人口のうち約半数が専門学校以上の学卒者である。社会人も高学歴者ほど資格取得や専門知識、資格取得のための訓練を受けている割合が高く上昇志向が強い。大学進学者のうち海外留学者が約4割を占め、海外生活・勤務にも抵抗が無い人材が多い。

ポストコロナの経済回復により、企業の人材採用ニーズが高まったことから、採用マーケットが活発化。求人数に対する求職者の需給バランスにおいて、圧倒的な「売り手市場」の状況になっている。

外国人就労規制は引き続き厳格化の傾向である。従来は数年に一度の頻度だった就労ビザのEP取得基準の引き上げが、2020年～2022年には3度も実施された。その結果、2019年の月額3,600SDollarから、2022年9月には月額5,000SDollarまで短期間で39%の上昇となった。さらに新規ビザ申請時、更新時に追加書類の要求や却下されるケースが増えてきている。

2023年9月からは、COMPASS (Complementarity Assessment Framework) と呼ばれる新たなEPビザ取得のための審査基準が導入される予定。個人と企業の両方の観点から審査基準を満たすことで得られるポイントの合計得点によりEPビザ取得の審査をする仕組みで、合計40ポイントが申請時に必要となる。

審査項目としては、企業の国籍多様性やシンガポール人の雇用比率など、従来からもビザ取得の審査項目に入っていたものだが、今回はっきりと明言化される形となる。

また2017年から運用が始まった「ウォッチリスト」による監視も継続しており、シンガポール人雇用比率が低い(シンガポール人の雇用に消極的と判断された)企業は要注意企業リストに挙げられ、大規模企業だけでなく中小企業も対象に取り締まられている。ウォッチリストに挙げられた企業が業務を改善し、一旦はリストから外れたものの、その後再びリスト入りするケースもあり、数年に渡る継続監視が行われている。

これらの規制により、現在シンガポールで働く外国人は①専門性のあるスペシャリスト、②若手やPermanent Residence (永住権) 保持者、Dependent Pass (配偶者ビザ) 保持者、LTVP (シンガポール人、シンガポール永住権保持者の配偶者ビザ) といったジェネラリスト枠での二極化が進んでいる。

労働者は上昇志向が強く、頻繁に転職を希望する傾向がある。特に若い世代ではその傾向が強い。コロナ禍では転職活動を控えていた求職者も、ポストコロナになって、積極的に転職活動を開始する動きを見せており、当社の登録者数も昨年対比で1.5倍となっている。自身のマーケットバリューを確認するなど情報収集は常に行っているため、リテンション (離職抑制) には一層の注意が必要となってきている。

社員が求めるものは、収入以外にもワークライフバランスのための福利厚生、キャリアパスの明確化、肩書、リーダーシップのあるマネジメントなど多様である。

コロナ後のニューノーマルな働き方として、ワークライフバランスの観点から、出社と在宅を組み合わせた働き方やフレックス制度、リモートワークなど、求職者が企業に応募するうえで柔軟な勤務形態を求める傾向が強まっている。

“

外国人雇用規制 (シンガポールコア) の強化により、外国人採用の難易度が上がっています。

”

給与動向

総賃金上昇率：3.3%（2019年）。1.2%（2020年）。3.9%（2021年）。

政府による度重なる就労ビザ取得基準の引き締めで外国人労働者のビザ取得が厳しくなっていることから、シンガポール人・永住権保持者の売り手市場が続いている。

転職による給与の上昇幅はコロナ前が平均10%だったところ、現在は平均15～30%に高騰している。人材不足とされる業界やニーズの高い専門職などでは30～50%増加する例もみられた。

企業も人材流出防止の観点から、市場価格と自社スタッフの給与テーブルを比較、見直して給与水準アップをはかる企業も出現。

採用・トレーニングコストに対しての給与の妥当性を考え、会社として残したい人を残す、リテンション対策のための給与の仕組みを考える企業も出てきた。

2021年度のシンガポール国立大学等の新卒給料(初任給)の中央値(median)は、IT系では月収5,800～6,000SGD（約58～60万円）、他の学位でも3,600～5,600 SGD（約36～56万円）である。

法定最低賃金：清掃業 (Cleaning)、警備業 (Security)、造園業 (Landscape) 従事者に対し、最低賃金に関する規定があるが、それ以外の業種については、最低賃金に関する法律上の規制はない。



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	250	340	+4%

1千シンガポールドル = 99,100円
(単位: 千シンガポールドル / 年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業				
	語学力不要		語学力必要									
非管理職級	50	60	70	+4%	55	70	85	+4%	50	60	70	+4%
課長級	60	80	120	+4%	70	90	130	+4%	60	80	120	+4%
部長級	120	130	180	+4%	130	140	210	+4%	150	170	230	+4%
役員級	190	200	290	+4%	150	200	340	+4%	290	320	440	+4%

人事職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業				
	語学力不要		語学力必要									
採用	40	60	70	+4%	50	60	70	+4%	60	80	100	+4%
教育研修・組織開発	50	70	80	+4%	50	60	70	+4%	60	80	120	+4%
制度・給与と社保	50	60	70	+4%	70	75	90	+4%	60	80	120	+4%
課長級	70	80	120	+4%	70	100	130	+4%	70	90	150	+4%
部長級	130	140	180	+4%	120	140	210	+4%	100	150	230	+4%
役員級	190	200	280	+4%	150	180	320	+4%	230	270	440	+4%

総務職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業				
	語学力不要		語学力必要									
秘書・アシスタント・総務庶務	40	50	90	+4%	50	60	85	+4%	50	60	90	+4%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	250	340	+4%

1千シンガポールドル = 99,100円
(単位: 千シンガポールドル / 年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
リテール営業	40	60	130	+4%	40	70	130	+4%	60	80	190	+4%	50	70	170	+4%
事業法人営業	40	60	140	+4%	40	80	140	+4%	60	90	200	+4%	50	80	180	+4%
課長級	100	100	130	+4%	100	110	130	+4%	120	130	180	+4%	110	120	170	+4%
部長級	140	160	260	+4%	140	160	260	+4%	210	230	310	+4%	200	220	290	+4%
役員級	310	350	530	+4%	310	350	530	+4%	310	370	610	+4%	390	420	530	+4%

金融系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
合併/買収	70	110	260	+4%	70	130	260	+4%	100	160	410	+4%	80	140	370	+4%
ファンドマネージャー	190	230	400	+4%	190	230	400	+4%	200	270	550	+4%	190	240	440	+4%
リスク管理	60	80	190	+4%	60	100	190	+4%	70	120	300	+4%	60	90	250	+4%
プライベートエクイティ	100	160	400	+4%	100	160	400	+4%	170	220	420	+4%	150	190	350	+4%
課長級	140	150	190	+4%	140	150	190	+4%	150	170	240	+4%	150	160	200	+4%
部長級	150	180	290	+4%	150	200	290	+4%	200	230	350	+4%	190	200	290	+4%
役員級	250	300	530	+4%	250	320	530	+4%	290	350	610	+4%	270	320	530	+4%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	250	340	+4%

1千シンガポールドル = 99,100円
(単位: 千シンガポールドル / 年)

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
非管理職級	40	50	70	+4%	50	60	70	+4%	50	55	80	+4%	30	40	70	+4%
課長級	70	75	90	+4%	70	85	90	+4%	80	90	110	+4%	70	75	100	+4%
部長級	80	90	130	+4%	90	100	150	+4%	90	110	190	+4%	80	100	180	+4%
役員級	120	140	240	+4%	140	180	340	+4%	140	200	410	+4%	110	130	200	+4%

コンシューマーグッズ系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
プロダクトマネージャー/ ブランドマネージャー	70	75	100	+4%	80	90	110	+4%	80	100	150	+4%	70	75	100	+4%
マーチャンダイザー	70	75	100	+4%	70	80	110	+4%	80	100	150	+4%	70	75	100	+4%
購買	70	75	100	+4%	80	90	110	+4%	80	100	150	+4%	70	75	100	+4%
課長級	80	90	110	+4%	90	100	150	+4%	90	110	180	+4%	80	85	100	+4%
部長級	90	100	140	+4%	100	120	170	+4%	110	120	180	+4%	90	95	120	+4%
役員級	130	150	240	+4%	150	190	340	+4%	150	200	410	+4%	100	120	200	+4%

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
非管理職級	40	50	70	+4%	50	60	80	+4%	50	50	80	+4%	30	40	70	+4%
課長級	70	75	90	+4%	80	85	90	+4%	80	90	110	+4%	70	75	100	+4%
部長級	80	90	130	+4%	90	100	150	+4%	90	110	190	+4%	80	100	180	+4%
役員級	120	140	240	+4%	140	180	340	+4%	140	200	410	+4%	110	130	200	+4%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	250	340	+4%

**1千シンガポールドル
= 99,100円**
(単位: 千シンガポールドル / 年)

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業				ローカル企業							
	語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要					
医薬情報担当者	60	65	100	+4%	60	65	100	+4%	60	80	120	+4%	60	65	80	+4%
医療機器営業	70	90	120	+4%	60	65	100	+4%	60	90	120	+4%	50	60	90	+4%
課長級	90	110	170	+4%	90	110	170	+4%	100	120	190	+4%	90	100	150	+4%
部長級	140	150	200	+4%	120	150	200	+4%	170	200	350	+4%	120	130	200	+4%
役員級	210	230	340	+4%	210	230	340	+4%	340	380	550	+4%	190	210	280	+4%

ヘルスケア系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業				ローカル企業							
	語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要					
治験コーディネーター	40	45	60	+4%	40	80	150	+4%	50	55	70	+4%	40	50	70	+4%
臨床開発モニター～ プロジェクトマネージャー	60	70	110	+4%	70	90	150	+4%	70	80	120	+4%	70	80	120	+4%
薬事申請	110	130	200	+4%	90	120	190	+4%	120	140	210	+4%	100	120	190	+4%
データマネジメント	100	110	190	+4%	90	110	190	+4%	120	140	240	+4%	100	110	190	+4%
課長級	150	160	200	+4%	90	150	200	+4%	150	170	270	+4%	130	140	190	+4%
部長級	190	200	220	+4%	120	200	220	+4%	210	240	370	+4%	190	200	220	+4%
役員級	210	230	340	+4%	210	250	340	+4%	340	370	480	+4%	210	220	280	+4%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	250	340	+4%

**1千シンガポールドル
= 99,100円**
(単位: 千シンガポールドル / 年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
非管理職級	50	60	70	+4%	50	70	90	+4%	90	120	170	+4%	80	100	160	+4%
課長級	70	75	100	+4%	70	85	110	+4%	120	150	190	+4%	90	110	180	+4%
部長級	100	110	130	+4%	100	120	150	+4%	180	200	250	+4%	100	110	130	+4%
役員級	160	180	200	+4%	160	190	250	+4%	200	270	420	+4%	150	170	240	+4%

IT 系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			ローカル企業								
	語学力不要		語学力必要													
IT コンサルタント	60	65	90	+4%	70	90	140	+4%	60	70	90	+4%	60	65	90	+4%
プロジェクトマネージャー	60	70	90	+4%	90	120	180	+4%	70	100	120	+4%	60	70	90	+4%
SE	60	70	100	+4%	70	90	100	+4%	70	90	100	+4%	60	70	100	+4%
テクニカルサポート	60	65	90	+4%	70	75	90	+4%	60	90	100	+4%	60	65	90	+4%
ネットワークエンジニア	70	75	100	+4%	70	90	110	+4%	70	75	100	+4%	70	75	100	+4%
課長級	100	110	140	+4%	100	130	200	+4%	100	120	150	+4%	100	110	140	+4%
部長級	110	140	200	+4%	110	180	250	+4%	120	150	180	+4%	110	140	200	+4%
役員級	180	200	250	+4%	180	250	360	+4%	180	200	250	+4%	180	200	250	+4%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
230	250	340	+4%

1千シンガポールドル
= 99,100円
(単位: 千シンガポールドル / 年)

製造業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業				ローカル企業							
	語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要					
海外営業	60	65	100	+4%	50	60	100	+4%	60	65	100	+4%	50	55	80	+4%
国内営業	40	50	80	+4%	50	55	100	+4%	50	60	100	+4%	50	55	80	+4%
商社(工業系)	50	60	100	+4%	50	60	100	+4%	50	65	120	+4%	50	55	80	+4%
課長級	90	100	130	+4%	70	90	120	+4%	100	110	160	+4%	70	80	120	+4%
部長級	100	110	150	+4%	100	120	150	+4%	150	170	240	+4%	90	100	140	+4%
役員級	150	200	310	+4%	140	170	300	+4%	150	200	310	+4%	140	170	290	+4%

マニュファクチャリング系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業				ローカル企業							
	語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要		語学力不要		語学力必要					
品質管理・品質保証	50	60	80	+4%	50	70	140	+4%	60	70	90	+4%	50	55	80	+4%
サービスエンジニア	60	65	80	+4%	60	75	140	+4%	60	70	90	+4%	50	55	80	+4%
セールスエンジニア	50	60	90	+4%	60	75	140	+4%	70	75	90	+4%	50	60	80	+4%
アプリケーションエンジニア	50	60	80	+4%	60	70	140	+4%	60	70	90	+4%	50	55	80	+4%
プラントエンジニア	50	60	80	+4%	50	70	140	+4%	50	60	100	+4%	50	55	80	+4%
機械/機構/筐体/メカトロ設計	50	60	80	+4%	50	70	140	+4%	50	70	100	+4%	50	55	80	+4%
施工管理(建築・土木)	90	110	180	+4%	90	110	190	+4%	130	140	200	+4%	70	90	150	+4%
課長級	70	80	120	+4%	70	90	150	+4%	100	110	160	+4%	70	80	120	+4%
部長級	100	110	140	+4%	100	120	180	+4%	150	170	240	+4%	100	110	140	+4%
役員級	140	170	290	+4%	140	180	340	+4%	210	250	390	+4%	120	150	290	+4%



MALAYSIA

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



マレーシア

4.4%

経済成長率

(2023 IMF)

13,943

US\$ 一人当たり GDP

4,675 億

US\$ GDP

2.8%

消費者物価上昇率

(2023 IMF)

経済動向

実質GDP成長率：3.1%（2021年）。5.4%（2022年）。4.4%（2023年）。

一人当たりGDP：13,943米ドル（2023年）。2011年に10,000米ドルを超えた。

消費者物価上昇率：2.5%（2021年）。3.2%（2022年）。2.8%（2023年）。

総人口：3,353万人。

民族：マレー（ブミプトラ）69%、中華23%、インド7%。首都クアラルンプール：842万人。

宗教：イスラム教(63.5%)、仏教(18.7%)、キリスト教(6.1%)、ヒンドゥー教(2.7%)他。

公用語はマレー語。中華系、インド系がそれぞれ独自の言語を継承しているが、イギリスの植民地支配時に普及した英語が共通語となっている。

失業率：4.3%（2023年）。

日系企業進出社数：1,602社（製造業64%）（2020年6月 JETRO）。

在留邦人数：27.3千人（2021年12月）。コロナ禍で前年比-12%。

多くの企業がコロナ禍で事業を縮小させる中、在マレーシア日系企業は製造業だけでも34万人の雇用を維持し、マレーシアにおける日本の投資を特徴づけた。

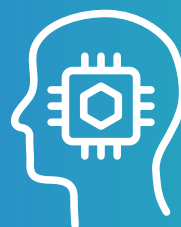
日系企業は長い間電気電子分野に注力している。マレーシアの輸出の4割は電気電子分野である。最近では、日系企業は、医療、医療機器製造、デジタル、ハラルフーズなどにも進出している。

2021年9月のJETRO調査では、58.7%の日系企業が黒字を予想しており、赤字予想企業は30.1%から4.9%に減少した。赤字予想企業の比率はASEAN加盟国のほとんどより低い。黒字予想企業の比率は50%から59.7%に約10ポイント上昇した。なお、大企業では67.7%と、中小企業では41.1%と違いがみられる。日本企業は今後数年間マレーシアでの拡大と営業機能の多角化を計画している。

外資系企業では、製造業は2022年も有力で、アメリカのTIMから165億リンギの新規投資を受けた。特に半導体、電子、電気は最も高成長の産業である。



SSC/BPO、医薬、化学、
FA、物流産業への
高い需要



ロボティクス、IoT、
AI人材への高い需要

採用動向

我々の調査では、外資系企業やローカル企業からの求人のうち40%が月給9000リンギ以上を記録した。アメリカ、欧州、中国からの新規立ち上げ投資により、全体の新規求人は2021年に比べて26%増えた。

世界のビジネス動向に合わせて、インサイドセールスやデジタルマーケティングなどのITの求人が22%増加した。

金融のシェアードサービスの多くは拡大し、さらに多くのアナリストやP2P担当者を採用している。

中国、台湾、香港、ベトナム、シンガポールの拠点から、マーコム、法務、営業などの新しい機能のポジションがマレーシア拠点に出てきている。

財務、人事、IT、購買などの機能も重視されており、特にそれぞれの本国の母国語スキル保持者への高いニーズがある。

他方、新しい要素として、人材がリモートワークを期待するのが普通になってきており、内定受諾の大変重要な要素になりつつある。これは人材確保のトレンドを刷新するものと見られている。デジタル化の加速に伴い、IT技術者を採用する企業には特に大きな影響を与えている。

各種の言語のソフトウェア開発者が求められている。クラウド関連のポジションが増えている。企業の需要は人材の数を引き続き上回っている。

日系企業の採用動向と同様に、非日系の企業でも、営業や事業開発の求人が幅広い業種でかなり増加している。企業は、経験豊富な営業人材が事業機会を増やすことを求めている。

新規採用による事業拡大を期待している中、51.8%の企業は社員の質を気にしている。マレーシアの企業はパンデミックで加速したリスクリングの競争、すなわち世界的には2020年の1400米ドルから2800米ドルに増加した一人当たりのリスクリング投資の競争に奮闘しているが、投資が報われるかはまだ不透明である。アジアの95%の社員が最近新しいスキルを学んだと回答しており、97%の企業が自社内のスキルギャップが大きいと報告している。

リスクリングとアップスキリングが2022年のアジアの組織でトップのテーマである中で、障害はまだ残っている。時間がない(36%)、4分の1の従業員は何のスキルにフォーカスして学ぶべきか自信がないと回答している。人事リーダーも同じことを考えている。新しいスキルニーズの速度についていくのが難しい(37%)。続いて、新しいスキルをもっとも生かせる社員を見つけること(35%)、リスクリングした社員が離職すること(35%)。

多くの企業が良い人材を採用するために人材紹介会社とのパートナーシップに注力している様子が観察されている。

給与動向

毎年平均的に5%程度の昇給が行われている。特に2015年のGST（物品・サービス税）導入（※2018年にSST（売上・サービス税）に変更）以降の物価上昇に連動して、新卒採用を含めて全体的に給与額が底上げされている。

実際は査定で個人毎の昇給率を決定するため、個人別には昇給率は0～15%までばらつきがある。

2022年4-6月に実施された10産業の544社（97%は多国籍企業）が参加したマーサーの総報酬調査（TRS）によれば、マレーシアの企業は2022年には4.5%の中央値の給与上昇を予測している。これは前年の4.1%からは0.4ポイントの増加であるが、5%を下回る。この昇給率は、APACの5.4%は下回るものの、GDP成長率は4.5%増と、コロナ前の2019年の4.4%増を上回るペースに回復したように、経済回復の自信を示している。アジアではパキスタンの9%増が最も高く、日本の2.3%が最も低い。

日本語スピーカーは、日本の大学を卒業するマレーシア人自体が年々減少し母数が減ってきている一方、日系企業などからの高いニーズに加え、外資系SSC（Shared Service Centre）/ BPO（Business Process Outsourcing）業界の新規プロジェクト開始、プロジェクト拡大等によって、採用需要が引き続き高い状態にある。日本人や日本語スピーカーに加え、北京語、タイ語、韓国語等の多言語人材は、各社が新規プロジェクト獲得に合わせて、短期間で10名から数十名単位で採用することも近年増えてきており、これら多言語人材は高給で引き抜かれるケースも多い。

IT人材については、30%～50%増の給与レベルを提示する企業もある。

大学新卒基本給与は、通常30～40千リング／年（80～105万円相当）程度である。

法定最低賃金：2022年5月に1500リング（約4.5万円）／月へ25%引き上げられた。以前は2020年2月からの1200リングであった。2年に1回の改定が原則である。

“

マネージャー職の求人が全体の約半数になるなど、コア人材への採用シフトが顕著に見られます。

”



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630円
(単位: 千リンギ/年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
非管理職級	50	60	80 +5%	50	60	100 +5%	80	90	110 +5%	50	60	100 +5%	40	60	90 +5%
課長級	100	130	160 +5%	100	120	190 +5%	130	150	230 +5%	110	140	180 +5%	90	110	150 +5%
部長級	160	200	240 +5%	150	170	250 +5%	220	250	330 +5%	180	220	250 +5%	150	190	240 +5%
役員級	250	290	440 +5%	230	260	360 +5%	250	290	360 +5%	260	320	500 +5%	230	290	420 +5%

人事職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
採用	70	75	100 +5%	70	80	100 +5%	80	90	110 +5%	70	90	140 +5%	70	80	90 +5%
教育研修・組織開発	70	75	100 +5%	70	80	110 +5%	90	100	150 +5%	70	90	140 +5%	70	80	90 +5%
制度・給与と社保	70	75	100 +5%	80	85	100 +5%	80	90	140 +5%	70	90	140 +5%	70	80	90 +5%
課長級	110	120	160 +5%	110	130	180 +5%	120	130	180 +5%	120	150	180 +5%	100	130	160 +5%
部長級	160	180	260 +5%	160	180	260 +5%	180	190	230 +5%	180	200	290 +5%	160	180	260 +5%
役員級	260	290	380 +5%	200	240	380 +5%	260	290	390 +5%	260	290	390 +5%	260	290	380 +5%

総務職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
非管理職級	50	65	85 +5%	70	75	110 +5%	80	90	120 +5%	50	60	100 +5%	40	60	80 +5%
課長級	85	95	110 +5%	100	120	200 +5%	110	120	200 +5%	100	125	150 +5%	85	95	110 +5%
部長級	120	155	200 +5%	N/A			140	160	210 +5%	150	200	240 +5%	120	155	220 +5%
役員級	200	200	300 +5%	N/A			210	240	360 +5%	230	280	370 +5%	200	200	300 +5%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630円

(単位:千リンギ/年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
リテール営業	70	75	90 +5%	N/A			70	75	90 +5%	65	70	80 +5%			
事業法人営業	70	100	110 +5%	70	80	130 +5%	90	100	170 +5%	70	75	110 +5%	65	70	90 +5%
課長級	120	170	200 +5%	140	150	180 +5%	160	180	240 +5%	120	180	200 +5%	120	170	200 +5%
部長級	180	230	260 +5%	160	180	250 +5%	190	200	330 +5%	190	240	280 +5%	170	230	260 +5%
役員級	250	290	360 +5%	250	280	380 +5%	250	280	440 +5%	270	330	390 +5%	250	290	360 +5%

金融系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
合併/買収	160	170	230 +5%	N/A			170	200	280 +5%	130	150	220 +5%			
ファンドマネージャー	250	300	460 +5%	N/A			250	320	550 +5%	250	300	460 +5%			
リスク管理	110	110	160 +5%	130	140	150 +5%	N/A			130	140	190 +5%	110	130	170 +5%
プライベートエクイティ	190	230	360 +5%	230	260	360 +5%	N/A			200	270	420 +5%	200	240	380 +5%
課長級	155	180	200 +5%	160	170	230 +5%	N/A			160	200	230 +5%	150	180	200 +5%
部長級	190	220	310 +5%	190	220	320 +5%	N/A			230	260	360 +5%	190	210	280 +5%
役員級	330	370	530 +5%	N/A			N/A			330	370	530 +5%	330	370	530 +5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630円

(単位:千リンギ/年)

ビジネスプロセスアウトソーシング業界

ビジネスプロセスアウトソーシング系専門職

ポジション	日系企業 / 外資系企業				ローカル企業						
	日本語 / 韓国語スピーカー		日本語 / 韓国語 ネイティブスピーカー		英語スピーカー						
オペレーター	70	80	120	90	70	40	40	40	40	+5%	
IT ヘルプデスク / テクニカルサポート	70	80	100	100	55	70	55	70	50	60	+5%
トレーナー	100	110	160	120	70	90	100	160	100	150	+5%
スーパーバイザー	60	110	160	140	90	110	120	150	110	160	+5%
課長級	60	110	160	170	140	160	160	200	130	180	+5%
部長級	90	140	190	210	170	190	180	260	170	240	+5%
役員級	240	280	440	290	270	360	300	440	280	440	+5%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630 円
(単位: 千リンギ / 年)

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
非管理職級	50 60 100 +5%	60 70 110 +5%	80 100 140 +5%	50 70 120 +5%	40 70 100 +5%		
課長級	90 110 180 +5%	100 110 160 +5%	130 150 210 +5%	90 140 200 +5%	90 120 180 +5%		
部長級	110 180 250 +5%	170 190 290 +5%	150 200 290 +5%	200 290 300 +5%	140 220 290 +5%		
役員級	230 270 330 +5%	240 280 420 +5%	290 320 440 +5%	300 440 500 +5%	250 320 460 +5%		

コンシューマーグッズ系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
プロダクトマネージャー/ ブランドマネージャー	80 100 140 +5%	80 90 160 +5%	N/A	90 110 210 +5%	80 110 190 +5%		
マーチャンダイザー	50 80 110 +5%	80 90 130 +5%	N/A	60 90 130 +5%	40 80 110 +5%		
購買	50 60 110 +5%	50 70 130 +5%	N/A	60 90 130 +5%	40 80 110 +5%		
課長級	100 140 160 +5%	100 120 180 +5%	N/A	110 180 210 +5%	100 150 190 +5%		
部長級	150 210 280 +5%	200 220 280 +5%	N/A	200 230 290 +5%	170 190 280 +5%		
役員級	230 280 420 +5%	260 300 450 +5%	N/A	250 330 450 +5%	230 320 420 +5%		



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630 円
(単位: 千リンギ / 年)

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
医薬情報担当者	60 70 100 +5%	70 90 140 +5%	N/A	60 80 120 +5%	60 70 100 +5%		
医療機器営業	60 80 110 +5%	80 90 140 +5%	100 110 140 +5%	60 90 150 +5%	60 80 110 +5%		
課長級	90 160 220 +5%	140 160 230 +5%	130 150 220 +5%	100 200 290 +5%	90 160 220 +5%		
部長級	150 210 300 +5%	190 220 300 +5%	190 210 330 +5%	190 280 360 +5%	150 210 300 +5%		
役員級	220 270 460 +5%	210 260 460 +5%	220 280 480 +5%	290 380 530 +5%	240 270 460 +5%		

ヘルスケア系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
非管理職級	50 70 100 +5%	N/A	N/A	60 80 110 +5%	50 70 100 +5%		
課長級	90 150 190 +5%	N/A	N/A	100 160 200 +5%	90 150 190 +5%		
部長級	160 190 220 +5%	N/A	N/A	180 240 320 +5%	160 190 220 +5%		
役員級	200 260 340 +5%	N/A	N/A	240 360 440 +5%	200 260 360 +5%		



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630円
(単位: 千リンギ/年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
非管理職級	50 60 90 +5%	70 80 100 +5%	100 110 120 +5%	100 120 150 +5%	100 120 150 +5%		
課長級	100 120 200 +5%	100 120 200 +5%	130 150 210 +5%	190 210 250 +5%	190 210 250 +5%		
部長級	200 230 300 +5%	200 230 300 +5%	200 220 260 +5%	250 280 380 +5%	250 280 380 +5%		
役員級	250 300 480 +5%	250 300 480 +5%	260 310 480 +5%	380 420 500 +5%	380 420 500 +5%		

IT 系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
プリセールス	70 75 90 +5%	70 80 130 +5%	110 120 130 +5%	130 150 190 +5%	130 150 190 +5%		
IT コンサルタント	90 90 100 +5%	70 75 100 +5%	130 140 160 +5%	100 110 130 +5%	100 110 130 +5%		
プロジェクトマネージャー	90 100 140 +5%	90 100 140 +5%	150 170 210 +5%	190 210 250 +5%	190 210 250 +5%		
SE	80 100 160 +5%	100 110 140 +5%	100 110 140 +5%	80 85 100 +5%	80 85 100 +5%		
テクニカルサポート	70 75 90 +5%	40 60 140 +5%	90 100 140 +5%	60 70 90 +5%	60 70 90 +5%		
ネットワークエンジニア	80 90 120 +5%	100 110 140 +5%	110 120 160 +5%	80 85 100 +5%	80 85 100 +5%		
課長級	120 140 190 +5%	130 150 290 +5%	150 170 220 +5%	190 210 250 +5%	190 210 250 +5%		
部長級	180 200 280 +5%	200 220 320 +5%	230 240 290 +5%	250 300 380 +5%	250 290 380 +5%		
役員級	220 270 440 +5%	260 300 440 +5%	320 370 440 +5%	380 420 500 +5%	380 420 500 +5%		



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630 円
(単位: 千リンギ / 年)

製造業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業													
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー											
海外営業	60	70	100	+5%	70	80	150	+5%	110	120	140	+5%	70	90	140	+5%	60	80	100	+5%
国内営業	60	70	100	+5%	60	80	140	+5%	100	120	140	+5%	70	90	140	+5%	60	80	100	+5%
課長級	110	140	200	+5%	120	140	190	+5%	150	160	180	+5%	150	160	220	+5%	110	140	200	+5%
部長級	170	190	230	+5%	130	160	280	+5%	200	220	290	+5%	220	240	330	+5%	170	230	230	+5%
役員級	290	320	420	+5%	220	270	440	+5%	250	280	440	+5%	320	360	460	+5%	290	340	420	+5%

マニュファクチュアリング系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業													
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー											
品質管理・品質保証	50	55	60	+5%	50	60	130	+5%	130	150	220	+5%	60	70	120	+5%	50	60	100	+5%
サービスエンジニア	50	60	100	+5%	50	60	130	+5%	90	110	160	+5%	60	70	120	+5%	50	60	100	+5%
セールスエンジニア	50	55	60	+5%	60	80	130	+5%	110	120	160	+5%	60	70	100	+5%	50	60	100	+5%
アプリケーションエンジニア	50	60	130	+5%	50	60	130	+5%	130	140	160	+5%	60	70	130	+5%	50	60	90	+5%
プラントエンジニア	50	60	80	+5%	50	60	130	+5%	130	150	240	+5%	60	70	120	+5%	50	60	110	+5%
機械／機構／管体／メカトロ設計	50	70	200	+5%	50	60	130	+5%	150	170	200	+5%	60	80	200	+5%	50	70	140	+5%
施工管理（建築・土木）	90	110	150	+5%	90	110	190	+5%	230	240	290	+5%	90	110	200	+5%	90	110	190	+5%
課長級	130	150	190	+5%	150	180	220	+5%	230	250	330	+5%	200	220	260	+5%	120	140	180	+5%
部長級	190	210	250	+5%	220	230	240	+5%	250	280	360	+5%	260	270	290	+5%	180	190	220	+5%
役員級	250	320	500	+5%	240	280	430	+5%	320	360	440	+5%	290	330	500	+5%	230	260	380	+5%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630 円
(単位: 千リンギ / 年)

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
非管理職級	50	70	100 +5%	60	70	110 +5%	80	90	110 +5%	60	80	120 +5%	50	70	110 +5%
課長級	90	120	150 +5%	110	130	180 +5%	130	140	180 +5%	100	120	180 +5%	90	110	150 +5%
部長級	150	190	250 +5%	180	200	260 +5%	190	210	280 +5%	180	230	270 +5%	150	180	240 +5%
役員級	230	270	350 +5%	260	280	350 +5%	260	280	360 +5%	250	300	420 +5%	230	260	320 +5%

シェアードサービスセンター業界

シェアードサービスセンター系専門職

ポジション	日系企業 / 外資系企業						ローカル企業								
	日本語 / 韓国語スピーカー			日本語 / 韓国語ネイティブスピーカー			他言語スピーカー (タイ語、ベトナム語、インドネシア語)			英語スピーカー					
売掛／買掛担当	70	90	200 +5%	80	90	110 +5%	60	70	110 +5%	70	75	100 +5%	70	75	90 +5%
総勘定元帳担当	70	80	130 +5%	90	110	130 +5%	70	90	140 +5%	70	75	110 +5%	70	75	110 +5%
ITテクニカルサポート	70	90	170 +5%	90	100	140 +5%	60	70	100 +5%	40	50	80 +5%	40	45	70 +5%
顧客窓口	70	80	110 +5%	100	110	110 +5%	50	60	100 +5%	60	70	100 +5%	40	50	70 +5%
事務／サポート	50	60	90 +5%	80	90	110 +5%	50	60	90 +5%	60	70	100 +5%	40	50	80 +5%
スーパーバイザー	100	110	160 +5%	130	130	140 +5%	100	120	200 +5%	90	100	140 +5%	90	100	130 +5%
課長級	150	160	220 +5%	150	170	220 +5%	130	150	190 +5%	120	140	220 +5%	120	130	190 +5%
部長級	160	180	240 +5%	190	210	240 +5%	150	170	210 +5%	190	200	240 +5%	150	160	200 +5%
役員級	260	320	400 +5%	230	270	400 +5%	230	280	390 +5%	260	300	440 +5%	240	280	430 +5%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
230	290	420	+5%

1千リンギ = 29,630 円
(単位: 千リンギ / 年)

商社業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー					
営業事務/サポート	50	55	70 +5%	50	55	70 +5%	80	90	100 +5%	50	60	70 +5%
非管理職級	60	65	80 +5%	60	70	110 +5%	90	110	140 +5%	60	70	100 +5%
課長級	120	130	160 +5%	130	140	160 +5%	150	160	180 +5%	120	150	230 +5%
部長級	170	180	210 +5%	180	190	240 +5%	190	210	260 +5%	210	240	320 +5%
役員級	290	320	420 +5%	240	280	420 +5%	260	300	440 +5%	290	330	470 +5%



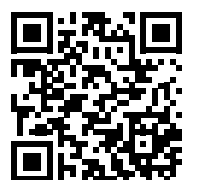
INDONESIA

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



インドネシア

2.8 億
人口

1.4 兆
US\$ GDP

5.0%
経済成長率
(2023 IMF)

5.5%
消費者物価上昇率
(2023 IMF)

経済動向

名目GDP：1.4兆米ドル。

実質GDP成長率：3.7%（2021年）。5.3%（2022年）。5.0%（2023年）。

一人当たりGDP：5,005米ドル（2023年）。

消費者物価上昇率：1.6%（2021年）。4.6%（2022年）。5.5%（2023年）。

総人口：2.8億人、世界4位。

失業率：5.5%（2022年）。5.3%（2023年）。

日本人：16,539人（2021年10月）が在住。コロナ禍による駐在員の帰国などの影響を受け2020年比-9.1%。

日系企業進出数：1,740社（製造業が過半）（2021年JETRO）

新型コロナウイルスの影響：強い規制が継続中である。感染爆発と規制強化に伴い2021年の経済活動も失速したが、2022年の成長率は高まることが予測されている。

オムニバス法（雇用創出法）：2020年10月に成立したオムニバス法により、2021年2月に施行細則の公布を発表。労務・投資領域を中心に79の法律が一度に改訂され、以前は外資上限67%としていた卸売業などが外資100%まで開放された。他に、中小企業・協同組合に留保される事業分野とパートナーシップを義務付ける事業分野も145業種から89業種に削減された。

これにより外国資本からの投資増が期待されたが、「質の高い投資誘致のため」、最低払込資本金が従来の25億ルピア超から100億ルピア超（約0.8億円～）と増額され、インドネシア市場への参入障壁は依然高い状態となっている。今後インドネシア市場への参入を目指す企業にとっては、インドネシアのローカル企業との良好なパートナーシップを築けるかどうか大きなカギとなる。

投資動向：日系企業による2020年の投資は2019年比で40%減となり、他の上位国であるシンガポール・香港・中国・オランダ・韓国の中で唯一減少した。投資額も2017年と比べると約半分になっている。中国・香港の投資は、ニッケル精錬所開発、中国の新幹線などで2019年に急拡大。韓国も自動車・EV関連の投資が続いている。日本はインドネシアの輸出先として3位、輸入先として3位、投資元として4位である。



オムニバス法施行による大型外資投資の期待



IT スタートアップ大国

採用動向

教育：2018年の短期大学を含む大学進学率は36.3%。労働者人口の約41%の最終学歴が小学校卒業以下と教育格差が大きい国と言える。

言語：公用語はインドネシア語である。日系大手企業では本社側の英語対応が難しい、また中小企業では駐在員の語学力が低い、加えて駐在員のビザ発行数も限られているといった事情から、現地での日本語人材のニーズは高い。インドネシアの日本語スピーカーは世界でも中国に次いで多いが、各社からの需要がそれ以上に強いため、採用には相応の努力が必要である。

求人動向：内需拡大に伴い、FMCG、食品、物流での採用ニーズが目立った。成長業界であるIT、建設・建築、ヘルスケアに関しても引き続き高い採用ニーズとなっている。二輪・四輪自動車業界では、例えば奢侈税免除による四輪自動車販売台数は、2021年は2020年の53万台を大きく上回る88万台を達成したが、2019年の103万台には至らず、新型コロナウイルスの先行き不透明な状況もあり、増員での採用を控える動きが目立ち、増員よりも欠員補充目的の採用が多かった。

日本人採用：2022年は、2021年に引き続き、日系企業では「現地化」が進む1年となった。2020年からの新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、従来の「日本からの駐在員」から、①インドネシアに既にいる日本人、②インドネシア人の日本語スピーカー、③インドネシア人の管理職（非日本語スピーカー）、ヘシフトする動きも目立った。また、外国人への就労ビザ発給がストップしていた関係から、インドネシアにいる日本人を採用する動きも顕著であった。募集職種は営業職が最も多く、次いで経理・会計、技術職、管理職となっている。経営幹部クラスの採用需要も増加傾向である。

インドネシア人日本語スピーカー：これまで日本人が担っていた総務・人事などバックオフィス・管理部門でインドネシア人日本語スピーカーを採用するケースが目立った。日本語スキルに加えて営業スキル、経理スキル等を掛け合わせて探すとなると、該当人材を転職マーケットで探すことは容易ではない状況にある。

インドネシア人：マネージャーあるいはマネージャー前提での採用が特徴として見受けられた。管理職の待遇条件は日系企業と現地系・欧米系多国籍企業とでは1.5～2倍ほど差があり、日本企業にとって優秀なインドネシア人管理職の獲得が困難になっている。2019年以降インドネシアでのプレゼンスが増している中国・韓国系企業において高待遇で採用する動きが目立っており、金銭報酬面及び、研修制度や昇進・抜擢など金銭報酬面以外の魅力付けの双方の強化が日系企業に求められている。

外国人就労ビザ動向：新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右されるため、これまで海外からも積極的に採用していた企業も、2021年はインドネシア国内在住者に絞って選考するケースも多く見受けられた。就労ビザの取得要件は特にコロナ前と変更は見られず、他のASEAN諸国よりも比較的取得しやすい国といえる。

“

注目されている電気自動車、天然資源、ニッケル関連、引き続き成長が見込まれる IT 領域での採用が期待されます。

”

給与動向

例年給与上昇率は5～10%程度であるが、2022年はコロナ禍により3%前後になった地域がほとんどである。しかしながら、日系企業が集積するブカシ県、カラワン県では5%程度と相対的に上昇率の高さが顕著となった。2023年の上昇率は3～5%程度に下がると予想されている。

現在のインドネシア大手企業は、欧米系外資系企業と比較しても高い給与で雇用する力がある。

業種別では、石油、ガス、エネルギー業界の給与が依然最高水準であり、これらにIT/通信業界が続く。eコマースの給与も最高水準である。eコマースには安定した給与額の幅が無く、非常にブレが大きい。働きやすい環境と良い給与を求め、異業種からも多くの人々がeコマースでの仕事を求めている。ユニコーン企業などは、世界の傾向と同じく若者にとっては憧れの就職先となっている。

転職時には前給の10～30%増程度のオファーが一般的である。不況により候補者が転職に慎重になっているため、採用難易度が上昇しているケースもある。また外資系ITの新規参入におけるキーパーソンには現年収の倍でオファーすることもある。候補者は月収だけでなく年収も重視し始めている。

日本語スピーカーに対しては「手当」としてプラスの給与を支給する企業が多く、20%～30%ほど給与が高めである。

地域別では、営業職の課長レベルで比べた場合、ジャカルタと近郊のブカシ・カラワンとの間では、後者が2～3割の給与が低くなる。ブカシ・カラワンに比べてスラバヤではさらに1～2割低くなり、地域格差は益々広がっている。

ジャカルタ首都特別州最低賃金：2020年IDR 4,276,350、2021年IDR 4,416,187、2022年IDR 4,641,854 /月（約3.7万円）（2021年比5.11%増）



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1 百万ルピア = 8,700 円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
非管理職級	120 130 150 +5%	170 180 200 +5%	190 200 240 +5%	490 520 650 +5%	140 160 270 +5%	130 150 240 +5%		
課長級	210 240 340 +5%	220 280 490 +5%	340 360 470 +5%	490 560 830 +5%	350 420 680 +5%	350 420 660 +5%		
部長級	350 370 460 +5%	490 540 700 +5%	580 600 700 +5%	830 930 1,300 +5%	630 720 1,100 +5%	630 700 970 +5%		
役員級	700 740 920 +5%	700 830 1,400 +5%	920 1,000 1,400 +5%	1,300 1,600 2,500 +5%	1,400 1,800 3,600 +5%	1,200 1,600 3,500 +5%		

人事職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
採用	140 150 190 +5%	150 160 200 +5%	170 180 240 +5%	210 270 490 +5%	240 280 460 +5%	240 280 460 +5%		
教育研修・組織開発	140 150 190 +5%	150 160 200 +5%	170 180 240 +5%	210 270 490 +5%	240 280 460 +5%	240 280 460 +5%		
制度・給与と社保	140 150 190 +5%	150 160 200 +5%	170 180 240 +5%	210 270 490 +5%	240 300 580 +5%	240 300 580 +5%		
課長級	240 260 340 +5%	340 360 460 +5%	340 360 460 +5%	490 560 830 +5%	340 400 630 +5%	340 390 580 +5%		
部長級	340 360 460 +5%	580 600 700 +5%	580 600 700 +5%	490 590 970 +5%	630 770 1,300 +5%	580 700 1,200 +5%		
役員級	700 740 920 +5%	920 1,000 1,200 +5%	920 1,000 1,200 +5%	830 1,000 1,600 +5%	1,300 1,800 3,500 +5%	1,200 1,600 3,500 +5%		

総務職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
秘書・アシスタント・総務庶務	70 80 90 +5%	100 150 340 +5%	100 150 350 +5%	340 450 870 +5%	90 170 490 +5%	90 130 300 +5%		



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1 百万ルピア = 8,700 円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業												
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー												
リテール営業	100	110	150	190	150	160	190	490	520	650	90	120	240	90	110	190			
事業法人営業	100	110	150	190	140	150	190	490	520	650	240	300	580	240	300	580			
課長級	240	280	430	460	340	360	460	410	440	580	490	520	650	340	400	630	340	400	630
部長級	350	410	600	580	460	480	580	580	620	800	490	560	830	630	770	1,300	630	770	1,300
役員級	1,400	1,500	1,900	1,900	1,400	1,500	1,900	1,400	1,500	1,900	830	1,000	1,600	1,300	1,800	3,500	1,300	1,800	3,500

金融系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業												
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー												
合併/買収	240	280	460	460	240	280	460	240	280	460	490	560	830	410	440	580	410	440	580
ファンドマネージャー	240	260	340	460	340	360	460	460	480	580	490	560	830	410	440	590	410	440	580
リスク管理	240	260	340	580	460	480	580	580	600	700	490	560	830	170	260	580	170	260	580
部長級	240	260	340	580	460	480	580	580	600	700	490	560	830	410	440	580	410	440	580
課長級	340	360	470	700	460	500	700	580	600	700	490	560	830	700	830	1,400	580	740	1,400
役員級	1,400	1,500	1,900	1,900	1,400	1,500	1,900	1,400	1,500	1,900	830	1,000	1,600	1,400	1,800	3,500	1,400	1,800	3,500



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1 百万ルピア = 8,700 円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
国内法人営業	90 100 140 +5%	130 140 170 +5%	190 200 240 +5%	490 560 830 +5%	240 300 580 +5%	240 300 580 +5%		
海外営業	N/A	340 360 460 +5%	460 480 580 +5%	490 560 830 +5%	240 300 580 +5%	240 300 580 +5%		
課長級	320 340 430 +5%	460 480 580 +5%	580 600 700 +5%	490 560 830 +5%	460 500 700 +5%	460 480 580 +5%		
部長級	460 500 700 +5%	700 740 920 +5%	920 960 1,200 +5%	490 590 1,000 +5%	700 830 1,400 +5%	700 830 1,400 +5%		
役員級	1,400 1,500 1,900 +5%	1,400 1,500 1,900 +5%	1,400 1,500 1,900 +5%	830 1,000 1,600 +5%	1,400 1,900 3,800 +5%	1,400 1,900 4,000 +5%		

コンシューマーグッズ系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
プロダクトマネージャー / ブランドマネージャー	240 260 340 +5%	580 600 700 +5%	700 720 790 +5%	450 520 830 +5%	460 500 700 +5%	460 500 700 +5%		
マーチャントデザイナー	240 260 340 +5%	340 360 460 +5%	460 480 580 +5%	490 560 830 +5%	240 280 460 +5%	240 280 460 +5%		
ピーアール	170 180 240 +5%	240 260 340 +5%	340 360 460 +5%	490 560 830 +5%	240 280 460 +5%	240 280 460 +5%		
購買	130 140 170 +5%	240 260 340 +5%	340 360 470 +5%	490 560 830 +5%	190 240 430 +5%	190 240 430 +5%		
課長級	340 360 460 +5%	460 480 580 +5%	700 720 800 +5%	490 560 830 +5%	460 500 700 +5%	460 500 700 +5%		
部長級	460 480 580 +5%	580 600 700 +5%	700 740 920 +5%	490 590 970 +5%	700 830 1,400 +5%	700 830 1,400 +5%		
役員級	1,400 1,500 1,900 +5%	1,400 1,500 1,900 +5%	1,400 1,500 1,900 +5%	830 1,000 1,600 +5%	1,400 1,800 3,500 +5%	1,400 1,800 3,500 +5%		



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1百万ルピア = 8,700円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー	
医薬情報担当者	40	50 ¹⁷⁰ +5%	N/A	N/A	450	510 ⁷⁵⁰ +5%	70	100 ¹⁹⁰ +5%
医療機器営業	130	140 ¹⁷⁰ +5%	190	200 ²⁴⁰ +5%	490	560 ⁸³⁰ +5%	70	120 ²⁷⁰ +5%
課長級	340	360 ⁴⁶⁰ +5%	460	480 ⁵⁸⁰ +5%	700	720 ⁸⁰⁰ +5%	490	560 ⁸³⁰ +5%
部長級	460	480 ⁵⁸⁰ +5%	580	600 ⁷⁰⁰ +5%	700	740 ⁹²⁰ +5%	490	560 ⁸³⁰ +5%
役員級	1,400	1,500 ^{1,900} +5%	1,400	1,500 ^{1,900} +5%	1,400	1,500 ^{1,900} +5%	830	1,200 ^{2,500} +5%

ヘルスケア系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー	
非管理職級	120	130 ¹⁷⁰ +5%	140	150 ¹⁹⁰ +5%	190	200 ²⁴⁰ +5%	490	520 ⁶⁵⁰ +5%
課長級	340	360 ⁴⁶⁰ +5%	460	480 ⁵⁷⁰ +5%	570	610 ⁸⁰⁰ +5%	490	520 ⁶⁵⁰ +5%
部長級	460	500 ⁷⁰⁰ +5%	700	740 ⁹²⁰ +5%	920	960 ^{1,160} +5%	490	560 ⁸³⁰ +5%
役員級	1,400	1,500 ^{1,900} +5%	1,400	1,500 ^{1,900} +5%	1,400	1,500 ^{1,900} +5%	830	1,200 ^{2,500} +5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1 百万ルピア = 8,700 円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業					
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー					
非管理職級	150	160 ¹⁹⁰ +7%	240	260 ³⁴⁰ +7%	240	260 ³⁴⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	160	210 ⁴¹⁰ +7%	160	210 ⁴¹⁰ +7%
課長級	240	260 ³⁴⁰ +7%	460	480 ⁵⁷⁰ +7%	570	590 ⁷⁰⁰ +7%	650	680 ⁸³⁰ +7%	480	520 ⁷²⁰ +7%	480	520 ⁷²⁰ +7%
部長級	570	590 ⁷⁰⁰ +7%	800	820 ⁹²⁰ +7%	800	820 ⁹²⁰ +7%	830	950 ^{1,400} +7%	700	910 ^{1,800} +7%	700	830 ^{1,400} +7%
役員級	1,400	1,500 ^{1,900} +7%	1,400	1,500 ^{1,900} +7%	1,400	1,500 ^{1,900} +7%	1,400	1,700 ^{2,700} +7%	1,400	1,900 ^{3,700} +7%	1,400	1,900 ^{4,000} +7%

IT 系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業					
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー					
IT コンサルタント	210	220 ²⁶⁰ +7%	240	260 ³⁴⁰ +7%	240	260 ³⁴⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	240	320 ⁶⁴⁰ +7%	240	320 ⁶⁴⁰ +7%
プロジェクトマネージャー	340	360 ⁴⁵⁰ +7%	570	590 ⁷⁰⁰ +7%	800	820 ⁹²⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	450	600 ^{1,200} +7%	460	610 ^{1,200} +7%
SE	240	260 ³⁴⁰ +7%	340	360 ⁴⁶⁰ +7%	340	360 ⁴⁶⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	240	310 ⁶²⁰ +7%	240	310 ⁶²⁰ +7%
テクニカルサポート	240	260 ³⁴⁰ +7%	340	360 ⁴⁶⁰ +7%	340	360 ⁴⁶⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	210	290 ⁵⁷⁰ +7%	240	300 ⁵⁷⁰ +7%
ネットワークエンジニア	240	260 ³⁴⁰ +7%	340	360 ⁴⁶⁰ +7%	340	360 ⁴⁶⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	210	300 ⁶²⁰ +7%	240	310 ⁶²⁰ +7%
課長級	340	370 ⁴⁹⁰ +7%	460	480 ⁵⁷⁰ +7%	460	480 ⁵⁷⁰ +7%	490	520 ⁶⁵⁰ +7%	460	510 ⁷²⁰ +7%	460	510 ⁷²⁰ +7%
部長級	570	610 ⁸⁰⁰ +7%	800	850 ^{1,000} +7%	920	960 ^{1,200} +7%	650	790 ^{1,300} +7%	700	910 ^{1,800} +7%	700	830 ^{1,400} +7%
役員級	1,400	1,500 ^{1,700} +7%	1,400	1,500 ^{1,700} +7%	1,400	1,500 ^{1,700} +7%	1,400	1,600 ^{2,400} +7%	1,400	1,900 ^{4,000} +7%	1,400	1,900 ^{4,000} +7%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1 百万ルピア = 8,700 円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

製造業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業																	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー																	
海外営業	N/A			490	520	650	+5%	190	250	480	+5%	190	250	480	+5%									
国内営業	140	150	190	+5%	240	260	340	+5%	240	280	460	+5%	490	520	650	+5%	190	250	440	+5%	170	210	370	+5%
商社 (工業系)	130	150	240	+5%	150	160	190	+5%	190	200	240	+5%	490	520	650	+5%	270	310	460	+5%	270	310	460	+5%
課長級	240	240	260	+5%	340	360	460	+5%	460	480	570	+5%	490	520	650	+5%	460	500	700	+5%	460	480	570	+5%
部長級	340	360	460	+5%	460	480	570	+5%	570	590	700	+5%	650	790	1,300	+5%	700	790	1,200	+5%	700	790	1,200	+5%
役員級	700	740	920	+5%	920	960	1,200	+5%	920	960	1,200	+5%	1,300	1,400	1,600	+5%	1,400	1,800	3,400	+5%	1,400	2,100	4,800	+5%

マニュファクチャリング系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業																	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー																	
品質管理・品質保証	140	150	180	+5%	170	180	200	+5%	170	180	200	+5%	490	520	650	+5%	170	180	200	+5%	170	180	200	+5%
サービスエンジニア	140	150	180	+5%	190	200	240	+5%	240	260	340	+5%	490	520	650	+5%	190	200	240	+5%	190	200	240	+5%
セールスエンジニア	140	150	190	+5%	150	170	240	+5%	240	260	340	+5%	490	520	650	+5%	150	170	240	+5%	150	170	240	+5%
アプリケーションエンジニア	140	150	190	+5%	190	200	240	+5%	240	260	340	+5%	490	520	650	+5%	190	200	240	+5%	190	200	240	+5%
プラントエンジニア	140	150	190	+5%	190	200	240	+5%	240	260	340	+5%	490	520	650	+5%	190	200	240	+5%	190	200	240	+5%
機械/機構/管体/メカトロ設計	140	150	190	+5%	190	200	240	+5%	240	260	340	+5%	490	520	650	+5%	190	200	240	+5%	190	200	240	+5%
施工管理 (建築・土木)	140	150	190	+5%	190	200	240	+5%	240	260	340	+5%	490	520	650	+5%	190	200	240	+5%	190	200	240	+5%
課長級	240	260	340	+5%	340	360	460	+5%	460	360	460	+5%	490	520	650	+5%	460	500	700	+5%	460	480	580	+5%
部長級	340	360	460	+5%	700	740	920	+5%	700	770	1,100	+5%	650	790	1,300	+5%	700	790	1,200	+5%	700	790	1,200	+5%
役員級	700	740	920	+5%	920	960	1,160	+5%	920	960	1,200	+5%	1,300	1,400	1,600	+5%	1,400	1,700	2,700	+5%	1,400	2,000	4,600	+5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
630	700	970	+5%

1 百万ルピア = 8,700 円
(単位: 百万インドネシアルピア / 年)

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
非管理職級	130 140 170 +5%	190 200 240 +5%	240 260 340 +5%	410 430 490 +5%	190 200 240 +5%	190 200 240 +5%		
課長級	240 260 340 +5%	340 360 460 +5%	340 360 460 +5%	490 560 830 +5%	460 480 580 +5%	460 480 570 +5%		
部長級	340 360 460 +5%	460 500 700 +5%	460 500 700 +5%	490 590 1,000 +5%	700 830 1,400 +5%	700 830 1,400 +5%		
役員級	700 740 920 +5%	1,400 1,500 1,900 +5%	1,400 1,500 1,900 +5%	830 1,000 1,600 +5%	1,400 1,700 2,700 +5%	1,400 1,700 2,700 +5%		



THAILAND

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



タイ

1%

失業率
(2023 IMF)

0.7 億

人口

8,274

US\$ 一人当たり GDP

3.7%

経済成長率
(2023 IMF)

経済動向

名目GDP：5,807億米ドル。

実質GDP 成長率：1.5% (2021年)。2.8% (2022年)。3.7% (2023年)。

消費者物価上昇率：1.2% (2021年)。6.3% (2022年)。2.8% (2023年)。

総人口：0.7億人(2023年)。

2020年は経済を犠牲にして新型コロナウイルスの抑え込みに成功していたものの、2022年は2021年に引き続きデルタ株の流行により大きな影響を受けて引き続き経済は大きな打撃を受けた。特にGDPの15%強を占めていた観光業へのダメージは大きく、引き続きオミクロン株の影響が懸念されるが、今後の入国制限緩和による回復が期待される。

自動車などの輸出型産業は世界経済の回復に連動して回復途上にある。本格的な景気回復は2023年以降になることが予想される。

コロナ禍でもデモが頻発しており、政治が安定していない事は懸念材料である。

採用動向

教育：教育水準はこの10年で急速に向上しているものの、ビジネスパーソンの平均レベルは先進国と比較するとまだ低い。なお、女性の大学進学率は男性の大学進学率より1.5倍程度高い。

言語：日本語学習者数は東南アジアではインドネシアに次いで2位（世界5位）と多い。しかし英語に比べると少ない（JAC Recruitmentの登録者でも英語スピーカー4：日本語スピーカー1の割合）。ビジネスは基本的にタイ語が用いられている。

男女間での性別による地位の差は小さい。タイでは管理的職業（部下の管理業務が業務の50%を超える管理職）における女性が占める割合が35%である（日本15%、アメリカ41%）。

日本人：コロナ禍を除き在タイの日本人数は常に増加傾向であり、現在は82,574人（同居家族等含む）である。外国人ホワイトカラーのビザ取得の難易度は、ここ数年特に変化はない。

転職市場は慢性的な売り手市場であり、コロナ禍で一時的に買い手市場側に振れていたが、業界によっては元の売り手市場に戻りつつある。特にIT業界は人材の売り手市場が顕著で高給を提示しないと人材の獲得が難しくなっている。コロナの影響として、2020年からのコロナ禍での採用抑制で人材不足になり採用を再開する企業や、国境を跨いだ移動制限のリスクにより、現地採用を強化する企業も増加している。

日系企業では、「取引先の日系企業で徐々に現地化が進んでいるため、営業担当（マネージャークラス）を現地人材に切り替えざるを得ない」という背景もあり、ローカル人材の求人が増えている。

“

採用市場は慢性的な売り手市場であり、特に日本語人材は日系企業との取引拡大を図る欧米系企業からも強い需要があります。

”

日本人現地採用の給与及び役職は年々上がってきており、駐在以外の日本人戦力の活用が進んでいる。特に現地法人のトップを現地採用扱いで日本人を中途採用する動きが、以前よりも中小企業にて顕著になっている。

タイ人のメンタリティ (3S+ グレンチャイ) を理解して接する必要がある、日本人の体育会系文化を持ち込むのは非常に難しい。採用時の条件は待遇が決め手であるが、採用後は仕事内容や人間関係においても満足度を高める必要がある。

給与動向

給与は毎年5～6%上昇していたが、2015年～2019年は景気が停滞気味で4～5%程度と減速傾向にあり、2020年以降は新型コロナウイルスの影響で、「昇給無し」になる例も含め、上昇幅はかなり鈍化した。

日系企業の新規進出は、日系大手企業の新規進出がほぼ一巡し、現在では日系の中小企業が新規進出しているため、英語を話さない駐在員の赴任が約半数を占める。その結果、特に現地のタイ人日本語スピーカーの需要は依然として強く、給与も景気と関係なく高い水準にある。中でも、勤務地が首都バンコクから遠いエリアであれば、特別な処遇がないと勤務してもらえないケースもある。

ESBエリア (チョンブリ・ラヨン県) では、中国資本系のメーカーがサプライヤーを引き連れて進出しており、2022年以降人材不足になる可能性がある。

タイの日系企業との取引拡大を狙う欧米系の外資系企業などから日本人やタイ人日本語スピーカーの採用ニーズも高く、15万バーツ (50万円相当) /月などの高給でのオファーも見られる。営業職の日本人などの採用が目立ち、給与も日系企業勤務時の1.5倍から2倍が提示されている。

公務員給与: 200～600千バーツ (70～205万円相当) /年程度。工場労働者の給与は200千バーツ (70万円相当) /年程度。店員の給与は150千バーツ (50万円相当) /年程度である。

法定最低賃金: 353バーツ (1,400円相当) /日 (バンコク)。(2022年10月～)。以前はCOVID-19前の331バーツ/日 (バンコク) (2020年4月～) で2年9か月ぶりの引き上げ。バンコクの引き上げ幅は約6.6%。



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
410	510	950	+5%

1千タイパーツ = 3,850 円
(単位: 千パーツ / 年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	380	460	800 +5%	N/A			1,100	1,150	1,200 +5%	410	510	950 +5%
課長級	740	900	1,500 +5%	N/A			1,500	1,600	1,900 +5%	900	1,200	2,000 +5%
部長級	1,500	1,700	2,700 +5%	N/A			1,700	1,800	2,200 +5%	2,000	2,200	2,700 +5%
役員級	2,400	2,700	4,100 +5%	2,400	2,700	4,100 +5%	2,600	2,700	3,100 +5%	2,700	3,300	5,400 +5%

人事職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	330	440	740 +5%	330	550	920 +5%	870	970	1,350 +5%	410	510	950 +5%
課長級	740	900	1,500 +5%	740	1,000	1,900 +5%	1,200	1,300	1,700 +5%	900	1,100	1,600 +5%
部長級	1,500	1,700	2,300 +5%	1,500	1,700	2,700 +5%	1,700	1,800	2,200 +5%	1,600	1,800	2,600 +5%
役員級	2,300	2,700	4,100 +5%	2,400	2,700	4,100 +5%	2,600	2,700	3,100 +5%	2,300	2,900	5,400 +5%

総務職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
秘書・アシスタント・総務庶務	330	460	830 +5%	390	550	920 +5%	800	870	1,200 +5%	410	550	1,100 +5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
410	510	950	+5%

1千タイバツ = 3,850 円
(単位: 千バツ/年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	390	540	1,000 +5%	460	720	1,350 +5%	1,100	1,200	1,600 +5%	510	610	1,000 +5%
課長級	740	950	1,800 +5%	1,200	1,400	1,800 +5%	1,500	1,700	2,600 +5%	900	1,100	1,900 +5%
部長級	1,500	1,700	2,700 +5%	1,500	1,700	2,700 +5%	1,700	2,000	3,100 +5%	1,700	2,000	3,100 +5%
役員級	3,000	3,300	4,900 +5%	3,000	3,300	4,900 +5%	3,500	4,100	6,900 +5%	3,100	3,900	7,400 +5%

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	430	470	670 +5%	570	650	1,000 +5%	1,100	1,100	1,200 +5%	510	590	900 +5%
課長級	680	800	1,200 +5%	860	960	1,400 +5%	1,300	1,300	1,500 +5%	1,000	1,100	1,500 +5%
部長級	1,500	1,600	1,900 +5%	1,500	1,700	2,700 +5%	1,700	1,900	2,500 +5%	2,400	2,500	2,900 +5%
役員級	2,100	2,600	4,300 +5%	2,100	2,600	4,300 +5%	2,600	3,500	6,900 +5%	2,900	3,600	6,400 +5%

コンシューマーグッズ系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
プロダクトマネージャー/ ブランドマネージャー	1,200	1,300	1,900 +5%	1,500	1,600	1,900 +5%	1,700	1,800	2,200 +5%	1,200	1,300	1,900 +5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
410	510	950	+5%

1千タイバツ = 3,850 円
(単位: 千バツ/年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー					
非管理職級	390	650	900 +5%	640	690	900 +5%	920	1,050	1,600 +5%	510	580	850 +5%
課長級	800	1,000	1,300 +5%	900	1,000	1,300 +5%	1,100	1,300	2,000 +5%	900	1,000	1,500 +5%
部長級	1,300	1,500	2,600 +5%	1,300	1,600	2,600 +5%	1,700	1,900	2,500 +5%	2,000	2,200	3,200 +5%
役員級	1,900	2,400	4,500 +5%	1,900	2,400	4,500 +5%	2,600	3,400	6,800 +5%	3,200	3,700	5,600 +5%

IT 系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー					
プログラマー (スタッフレベル)	390	590	800 +5%	570	620	870 +5%	870	890	980 +5%	430	500	800 +5%
プログラマー (シニアレベル)	680	780	1,100 +5%	680	810	1,350 +5%	950	960	1,030 +5%	890	980	1,350 +5%
ブリッジエンジニア	N/A			590	680	1,350 +5%	900	920	1,050 +5%	N/A		
プロジェクトマネージャー	780	1,000	1,700 +5%	1,000	1,200	2,100 +5%	1,300	1,500	2,400 +5%	1,200	1,500	2,700 +5%
SE	510	660	1,250 +5%	590	680	1,350 +5%	1,100	1,200	1,500 +5%	510	680	1,350 +5%
課長級	900	1,000	1,600 +5%	1,300	1,400	1,600 +5%	1,200	1,200	1,500 +5%	1,200	1,300	1,600 +5%
部長級	1,700	1,900	2,600 +5%	1,700	1,900	2,600 +5%	1,200	1,400	2,600 +5%	1,600	1,800	2,600 +5%
役員級	2,300	2,700	4,500 +5%	2,300	2,700	4,500 +5%	1,900	2,000	3,000 +5%	2,300	2,800	5,000 +5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
410	510	950	+5%

1千タイバツ = 3,850 円
(単位: 千バツ / 年)

製造業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー		
海外営業	420	540	1,000 +5%	500	710	1,200 +5%	1,100	1,400	2,400 +5%	410	530	1,000 +5%	1,700	2,000	3,200 +5%
国内営業	340	430	820 +5%	410	580	970 +5%	950	1,000	1,300 +5%	410	480	820 +5%	1,200	1,500	2,900 +5%
課長級	700	910	1,500 +5%	830	1,100	2,000 +5%	1,100	1,300	1,900 +5%	820	1,100	2,000 +5%	1,700	2,000	3,200 +5%
部長級	1,000	2,100	2,600 +5%	1,300	2,200	2,800 +5%	1,600	1,900	3,200 +5%	1,400	1,600	2,700 +5%	2,600	3,100	5,100 +5%
役員級	2,400	2,900	4,300 +5%	2,400	2,900	4,300 +5%	2,600	3,400	6,600 +5%	2,700	3,300	5,400 +5%	3,400	4,400	8,300 +5%

マニュファクチャリング系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー		
品質管理・品質保証	300	410	850 +5%	520	870	1,200 +5%	1,200	1,500	2,700 +5%	410	490	850 +5%	1,700	2,000	3,400 +5%
サービスエンジニア	350	460	650 +5%	440	720	980 +5%	1,100	1,300	1,900 +5%	410	480	820 +5%	N/A		
セールスエンジニア	440	600	1,000 +5%	440	720	980 +5%	1,100	1,400	2,400 +5%	410	600	1,350 +5%	1,700	1,900	2,900 +5%
機械エンジニア	350	480	650 +5%	440	770	1,200 +5%	1,100	1,400	2,800 +5%	410	550	1,100 +5%	N/A		
デザインエンジニア	440	490	750 +5%	480	620	1,200 +5%	1,100	1,400	2,800 +5%	410	550	1,100 +5%	N/A		
フィールドエンジニア	350	490	1,100 +5%	670	770	1,200 +5%	1,000	1,200	1,900 +5%	410	550	1,100 +5%	N/A		
施工管理エンジニア	380	560	1,300 +5%	670	770	1,200 +5%	1,500	1,700	2,400 +5%	410	600	1,350 +5%	N/A		
メンテナンスエンジニア	340	400	670 +5%	450	560	1,000 +5%	1,500	1,700	2,400 +5%	410	480	820 +5%	N/A		
電気エンジニア	430	480	700 +5%	450	540	880 +5%	1,100	1,400	2,800 +5%	410	480	820 +5%	N/A		
課長級	920	1,100	2,000 +5%	1,000	1,400	2,000 +5%	1,400	1,600	2,200 +5%	810	1,050	2,040 +5%	N/A		
部長級	1,300	1,500	2,600 +5%	1,800	2,100	3,300 +5%	1,800	2,200	3,600 +5%	1,400	1,600	2,700 +5%	2,600	2,800	3,700 +5%
役員級	2,600	2,800	4,100 +5%	3,600	3,700	4,100 +5%	2,500	3,100	5,400 +5%	2,700	3,300	5,400 +5%	3,100	3,600	5,800 +5%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
410	510	950	+5%

1千タイバツ = 3,850 円
(単位: 千バツ / 年)

サービス業界

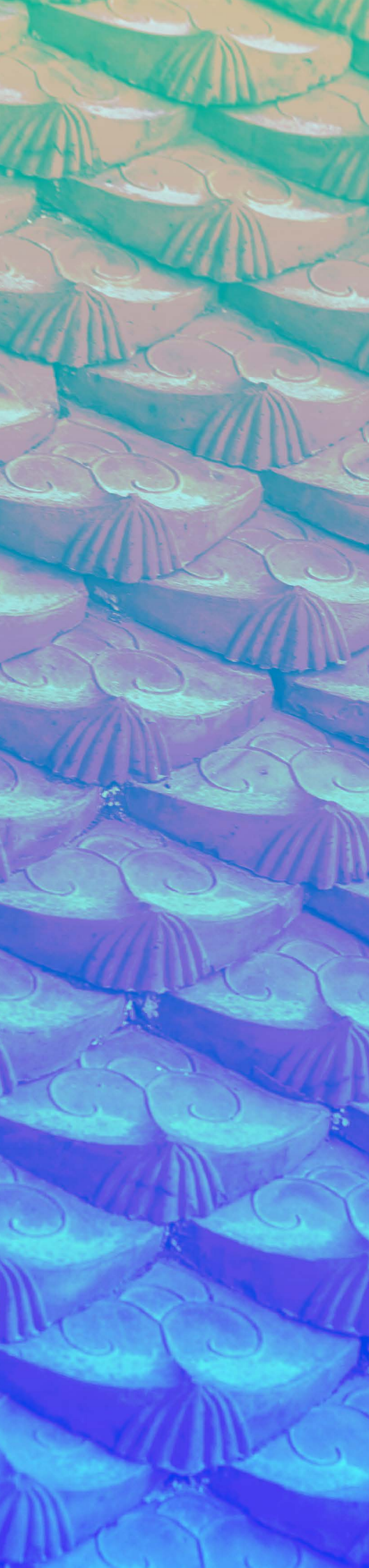
営業職

ポジション	日系企業						外資系企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー		
非管理職級	370	440	740 +5%	500	680	1,300 +5%	800	870	1,200 +5%	510	560	740 +5%	N/A		
課長級	670	780	1,200 +5%	900	1,100	1,700 +5%	950	1,000	1,350 +5%	900	1,000	1,500 +5%	N/A		
部長級	1,200	1,400	2,200 +5%	1,300	1,700	2,500 +5%	1,700	1,900	2,500 +5%	1,600	1,700	2,300 +5%	N/A		
役員級	2,100	2,600	4,200 +5%	2,100	2,600	4,200 +5%	2,500	3,400	6,900 +5%	2,500	3,200	6,200 +5%	N/A		

貿易 / 物流業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー		
非管理職級	320	400	740 +5%	480	560	900 +5%	1,100	1,150	1,200 +5%	510	590	900 +5%	1,000	1,100	1,500 +5%
課長級	740	830	1,250 +5%	900	1,000	1,400 +5%	1,300	1,300	3,200 +5%	1,000	1,100	1,500 +5%	1,500	1,600	3,000 +5%
部長級	1,200	1,500	2,500 +5%	1,300	1,700	2,500 +5%	1,700	1,900	4,400 +5%	1,800	2,000	2,900 +5%	3,000	2,300	3,750 +5%
役員級	2,100	2,600	4,200 +5%	2,100	2,600	4,200 +5%	2,600	3,500	6,900 +5%	2,500	3,100	5,600 +5%	N/A		



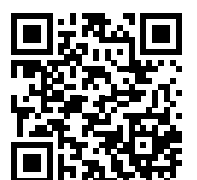
VIETNAM

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



ベトナム

6.2%

経済成長率
(2023 IMF)

1億

人口

5,100万

雇用者数

2.3%

失業率
(2023 IMF)

経済動向

名目GDP：4,696億米ドル（2023年）。

一人当たりGDP：4,683米ドル（2023年）。

実質GDP成長率：2.6%（2021年）。7.0%（2022年）。6.2%（2023年）。

消費者物価上昇率：3.9%（2023年）。

総人口：1億人（2023年）。

失業率：2.3%（2023年）。

在留邦人数：22,185人（2021年10月現在）。

2022年上半期は新型コロナウイルスの影響が響き、短期的に経済成長にブレーキが掛かった状態となったが、下半期にかけて復調し、中長期的には経済成長は2019年までの勢いが戻ると推測される。若年人口の増加、中間所得層の増加により、小売・消費財の成長は続く見込み。医療サービス・医薬品市場も拡大が見込まれる。海外からの直接投資（特に中国、韓国、台湾から）が回復基調であり、停止中のプロジェクトも動き始め、不動産・建設市場も更に盛り上がっていくことが予想される。

特に注目したいのが市内鉄道の開発で、現在、ハノイ・ホーチミンの二大都市で開発が進んでいる。ハノイでは一部の路線が2021年末に運行を開始し、利用者も順調に増加している状況。各線の駅予定地の開発は進み始めているが、運行が本格化すれば更に経済が活性化することが予想される。

もう一つキーワードとして注目したいのが電子化で、具体的にはモバイル決済の普及ならびに行政サービスの電子化などが挙げられる。現在のベトナムは銀行口座の開設率、クレジットカードの普及率を踏まえると現金主義の傾向が強い。一方でECサイトの取引増、人口増を考慮すると、モバイル決済普及と行政電子化による効率化が進んでいく見込みである。行政関連では電子ビザ、電子インボイスが既に導入された。



内需の拡大



日系企業における中・韓・台語話者、非日系企業における日本語話者、等クロスマーケットでの需要

採用動向

コロナ禍により企業が人員を削減するフェーズは終息し、停止していた欠員補充、増員が活発化するリバウンド需要が顕著となった。特にITなどの業界では、売り手市場が進み、一部の企業では採用が思ったように進まず、苦戦している。ベトナムでは、今後、応用化学、自動化技術、人工知能、バイオメディカルエンジニアリング、化学、生物学、データ分析、エネルギーなどの市場が発展することが予想されており、2023年は関連する人材ニーズが更に生まれることが期待されている。

日系企業：新型コロナウイルス流行後は国境を越えた往来が難しくなり出張者が激減していたが、2022年半ばからは徐々に回復。ビジネスの活発化に伴い、停止していたベトナム進出プロジェクトが再度動き出した事による需要も増加。ベトナム国内在住の日本人に対する採用需要は根強いが、海外在住者の採用機会も顕著に増加しつつある。日系企業の進出は今後も増えることが予想されるため、日本語力を有するバックオフィスのベトナム人人材の需要は堅調である。採用にあたり、現地の相場に合わせた適切な給与提示に悩む会社が多い。

非日系外資系企業：非日系の外資系企業、特に中国・台湾・韓国系企業は、日系企業よりも高い待遇条件を提示して人材を獲得・引き抜くことが多い。また、欧米系外資系企業は入社後の研修機会を多く設け、社員への魅力付けを図っている。

ローカル企業：ローカル系大手系列の企業は好待遇で人材を引き抜く傾向がみられ

る。ただし、給与減額に関する条項が盛り込まれているなど、処遇に関する厳しい規定が設定されている企業もある。ローカル企業はエキスパートを採用する場合、社用車・住宅・子供のインターナショナルスクールの学費・家族の健康保険など、日系では大手の現法社長レベルの人材でないと得られない待遇を提示する企業も多い。

ビザ動向：ビザの規制の動きは見られないが、特にホーチミンにて、VISAの代行業者による申請が認められなくなるなどプロセスは厳格化している。2021年施行の労働法改正により、労働許可証の更新手続きがより手間がかかるものとなり、また外国人労働者は基本的に有期雇用となることが明確になった。

“

中長期的な内需の急拡大に伴う
内外の企業からの高い採用意欲の中で、
徐々に新規求人依頼も増加しています。

”

給与動向

2020年～2021年に例年より低めの傾向となった給与上昇率は、2022年～2023年に向けて改善される見込みで、賞与の支給額も増加することが予想される。ベトナム経済の発展を考えると中長期的な傾向は変わらないと予測されており、業界としては、IT、建設・不動産での好待遇が目立った。

公務員給与は4,000米ドル（59万円相当）／年程度。工場労働者の基本給は5,000米ドル（73万円相当）／年程度。店員の基本給は3,000米ドル（44万円相当）／年程度である。

法定最低賃金：4.68百万ドン（2.7万円相当）／月（ハノイ、ホーチミン等）。2021年は新型コロナウイルスの影響で異例の据え置き。最低賃金の改定時期は毎年1月1日だが、2022年からは7月1日に変更された。直近2022年7月の上記地域の最低賃金上昇率は5.9%となった。



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1 千米ドル = 132,460 円

(単位：千米ドル / 年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
非管理職級	5 6 7 +6%	8 10 11 +6%	11 13 18 +6%	29 31 35 +6%	10 11 13 +6%	5 6 11 +6%		
課長級	N/A	14 17 23 +6%	15 20 33 +6%	42 47 57 +6%	15 17 23 +6%	13 14 18 +6%		
部長級	N/A	28 35 50 +6%	38 41 50 +6%	53 55 61 +6%	42 47 57 +6%	29 31 35 +6%		
役員級	N/A	40 46 57 +6%	51 55 64 +6%	61 66 76 +6%	48 53 64 +6%	38 45 57 +6%		

人事職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
採用	N/A	7 8 13 +6%	11 12 16 +6%	29 30 32 +6%	8 10 13 +6%	7 8 10 +6%		
教育研修・組織開発	N/A	8 10 11 +6%	14 15 18 +6%	29 30 32 +6%	11 12 13 +6%	7 8 11 +6%		
制度・給与社保	N/A	7 8 9 +6%	12 13 14 +6%	29 30 32 +6%	12 13 14 +6%	8 9 10 +6%		
課長級	N/A	18 21 29 +6%	19 22 30 +6%	42 47 57 +6%	22 24 31 +6%	16 18 23 +6%		
部長級	N/A	29 30 33 +6%	37 39 46 +6%	53 55 61 +6%	41 42 46 +6%	29 30 33 +6%		
役員級	N/A	38 40 46 +6%	53 55 61 +6%	61 66 76 +6%	58 61 70 +6%	38 39 41 +6%		

総務職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
秘書・アシスタント・総務庶務	N/A	7 8 12 +6%	11 13 18 +6%	20 28 42 +6%	8 10 13 +6%	6 7 11 +6%		



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1千米ドル = 132,460円

(単位：千米ドル/年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
リテール営業	7 8 11 +6%	11 13 18 +6%	16 18 24 +6%	20 22 27 +6%	12 15 21 +6%	5 6 10 +6%		
事業法人営業	8 10 11 +6%	13 15 21 +6%	17 20 27 +6%	28 30 35 +6%	13 16 24 +6%	5 6 10 +6%		
課長級	N/A	21 23 30 +6%	22 27 36 +6%	42 45 50 +6%	21 28 42 +6%	16 18 24 +6%		
部長級	N/A	28 34 49 +6%	31 36 49 +6%	50 52 58 +6%	30 39 60 +6%	28 32 42 +6%		
役員級	N/A	54 68 98 +6%	54 68 98 +6%	61 71 92 +6%	60 81 120 +6%	49 65 98 +6%		

金融系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー		
合併/買収	N/A	54 67 92 +6%	61 71 92 +6%	76 99 145 +6%	55 67 92 +6%	37 49 73 +6%		
ファンドマネージャー	N/A	54 71 105 +6%	61 82 125 +6%	110 125 155 +6%	64 78 110 +6%	52 64 87 +6%		
リスク管理	N/A	49 56 73 +6%	92 100 125 +6%	110 125 155 +6%	60 72 98 +6%	52 64 87 +6%		
プライベートエクイティ	N/A	49 60 85 +6%	92 100 125 +6%	110 125 155 +6%	60 76 110 +6%	52 64 87 +6%		
課長級	N/A	76 82 92 +6%	92 100 125 +6%	110 130 165 +6%	92 110 140 +6%	73 84 105 +6%		
部長級	N/A	92 100 125 +6%	125 135 155 +6%	155 180 230 +6%	100 130 185 +6%	98 115 155 +6%		
役員級	N/A	120 140 185 +6%	130 155 210 +6%	230 260 310 +6%	185 205 245 +6%	135 160 210 +6%		

凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1 千米ドル = 132,460 円

(単位：千米ドル / 年)

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
非管理職級	7 8 13 +6%	11 15 23 +6%	12 17 28 +6%	28 32 42 +6%	17 23 36 +6%	13 14 16 +6%		
課長級	N/A	22 35 61 +6%	22 35 61 +6%	42 47 57 +6%	45 54 75 +6%	29 31 36 +6%		
部長級	N/A	36 51 81 +6%	36 51 81 +6%	57 61 72 +6%	53 66 92 +6%	45 50 60 +6%		
役員級	N/A	57 69 92 +6%	57 69 92 +6%	72 81 100 +6%	72 92 134 +6%	65 74 95 +6%		

コンシューマーグッズ系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
プロダクトマネージャー / ブランドマネージャー	6 11 19 +6%	15 17 23 +6%	14 16 22 +6%	35 43 60 +6%	17 31 59 +6%	14 17 23 +6%		
マーチャンダイザー	6 8 15 +6%	14 17 23 +6%	13 14 16 +6%	29 31 36 +6%	17 24 41 +6%	13 16 24 +6%		
購買	6 11 19 +6%	13 19 33 +6%	14 20 35 +6%	29 31 36 +6%	14 20 33 +6%	13 16 23 +6%		
課長級	N/A	14 30 61 +6%	24 36 61 +6%	42 47 57 +6%	15 35 75 +6%	27 30 36 +6%		
部長級	N/A	16 21 33 +6%	25 29 37 +6%	57 61 72 +6%	17 38 81 +6%	28 37 56 +6%		
役員級	N/A	45 47 53 +6%	51 58 73 +6%	72 81 100 +6%	49 77 135 +6%	55 63 80 +6%		



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1千米ドル = 132,460円

(単位:千米ドル/年)

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業					
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー					
医薬情報担当者	10	11 ¹² +12%	17	25 ³⁴ +12%	18	21 ²⁹ +12%	37	40 ⁴⁷ +12%	20	31 ⁴³ +12%	11	15 ²² +12%
医療機器営業	10	11 ¹² +12%	21	27 ³² +12%	18	21 ²⁹ +12%	37	40 ⁴⁷ +12%	26	38 ⁵⁰ +12%	12	16 ²² +12%
課長級	10	11 ¹² +12%	39	49 ⁵⁹ +12%	21	40 ⁸¹ +12%	56	62 ⁷⁵ +12%	50	67 ⁸⁴ +12%	16	26 ⁴⁷ +12%
部長級	10	11 ¹⁶ +12%	58	80 ¹⁰⁰ +12%	25	49 ¹⁰⁰ +12%	75	87 ¹¹⁵ +12%	84	109 ¹³⁴ +12%	18	38 ⁸⁰ +12%
役員級	10	12 ¹⁸ +12%	92	105 ¹²⁰ +12%	36	64 ¹²⁰ +12%	145	165 ²⁰⁰ +12%	135	170 ²⁰⁰ +12%	20	55 ¹²⁵ +12%

ヘルスケア系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業					
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー					
治験コーディネーター	8	9 ¹⁰ +12%	12	25 ³⁷ +12%	15	21 ³⁷ +12%	45	56 ⁷⁸ +12%	15	31 ⁴⁷ +12%	17	21 ³⁰ +12%
臨床開発モニター ～プロジェクト マネージャー	8	9 ¹⁰ +12%	12	25 ³⁷ +12%	15	21 ³⁷ +12%	45	56 ⁷⁸ +12%	15	31 ⁴⁷ +12%	17	21 ³⁰ +12%
薬事申請	8	9 ¹⁰ +12%	11	20 ²⁹ +12%	15	19 ²⁹ +12%	31	34 ³⁸ +12%	15	26 ³⁸ +12%	17	21 ³¹ +12%
データマネジメント	11	12 ¹³ +12%	22	35 ⁴⁷ +12%	13	18 ²⁹ +12%	31	34 ³⁸ +12%	29	46 ⁶³ +12%	17	20 ²⁹ +12%
課長級	12	13 ¹⁶ +12%	39	49 ⁵⁹ +12%	26	32 ⁴⁷ +12%	50	52 ⁵⁶ +12%	50	67 ⁸⁴ +12%	28	31 ⁴⁰ +12%
部長級	12	13 ¹⁷ +12%	58	80 ¹⁰⁰ +12%	36	40 ⁴⁹ +12%	63	65 ⁶⁹ +12%	84	110 ¹³⁵ +12%	40	50 ⁷³ +12%
役員級	12	15 ²⁰ +12%	92	105 ¹²⁰ +12%	50	65 ⁹⁵ +12%	75	82 ⁹⁵ +12%	135	170 ²⁰⁰ +12%	55	65 ⁸⁶ +12%

凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1 千米ドル = 132,460 円

(単位：千米ドル / 年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
非管理職級	10 ¹² 9	17 ³¹ 12	17 ³¹ 10	41 ⁵⁸ 33	24 ³¹ 21	14 ¹⁸ 13	+15% +15%	
課長級	N/A	45 ⁵³ 41	44 ⁵² 40	63 ⁷⁷ 58	45 ⁵³ 41	23 ³⁰ 21	+15% +15%	
部長級	N/A	54 ⁶⁰ 52	54 ⁶⁰ 52	83 ⁹⁷ 77	54 ⁶¹ 52	25 ³³ 22	+15% +15%	
役員級	N/A	68 ⁸⁴ 61	68 ⁸⁴ 61	100 ¹⁵⁵ 77	74 ⁸⁴ 69	41 ⁵³ 37	+15% +15%	

専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		ローカル企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	
IT コンサルタント	N/A	14 ¹⁵ 13	38 ⁴⁶ 35	72 ⁹⁷ 61	22 ²⁹ 18	17 ²⁵ 14	+15% +15%	
プロジェクトマネージャー	N/A	36 ⁴¹ 33	48 ⁵⁸ 45	79 ¹²⁵ 58	92 ¹³⁰ 74	36 ⁴⁹ 29	+15% +15%	
SE (Web 系)	N/A	23 ²⁵ 22	35 ³⁷ 35	54 ⁶⁷ 48	40 ⁶⁰ 31	17 ³⁰ 12	+15% +15%	
SE (オープン系)	N/A	14 ¹⁷ 13	35 ³⁹ 33	54 ⁶⁷ 48	26 ⁴³ 18	14 ¹⁸ 12	+15% +15%	
テクニカルサポート	N/A	14 ¹⁶ 13	26 ²⁹ 25	41 ⁴⁸ 38	22 ³⁰ 18	7 ⁹ 6	+15% +15%	
ネットワークエンジニア	N/A	14 ¹⁷ 13	26 ²⁹ 25	54 ⁶⁷ 48	18 ²² 17	13 ¹⁷ 12	+15% +15%	
課長級	N/A	36 ⁴³ 33	53 ⁶⁹ 46	69 ⁹³ 58	52 ⁸¹ 38	33 ⁴³ 30	+15% +15%	
部長級	N/A	55 ⁶² 52	75 ⁹³ 67	95 ¹⁰⁰ 93	60 ⁸³ 48	48 ⁷⁶ 36	+15% +15%	
役員級	N/A	76 ⁸⁵ 71	100 ¹¹⁵ 91	115 ¹⁴⁵ 100	145 ²¹⁵ 110	49 ⁶⁸ 40	+15% +15%	

凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1千米ドル = 132,460 円
(単位: 千米ドル / 年)

製造業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
海外営業	15	23	32 +6%	14	20	35 +6%	29	35	50 +6%	23	43	64 +6%	11	12	14 +6%
国内営業	13	20	28 +6%	13	16	22 +6%	20	28	42 +6%	15	31	48 +6%	8	10	13 +6%
商社(工業系)	13	13	14 +6%	15	19	30 +6%	29	33	42 +6%	15	21	28 +6%	11	12	14 +6%
課長級	25	45	64 +6%	22	33	54 +6%	42	47	57 +6%	45	62	80 +6%	17	25	42 +6%
部長級	52	66	80 +6%	29	41	67 +6%	57	61	72 +6%	59	85	110 +6%	29	35	49 +6%
役員級	59	81	103 +6%	47	64	100 +6%	72	76	86 +6%	89	100	110 +6%	42	48	60 +6%

マニュファクチュアリング系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業			ローカル企業								
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー								
品質管理・品質保証	8	11	13 +6%	11	12	14 +6%	36	42	57 +6%	12	17	22 +6%	8	10	13 +6%
サービスエンジニア	12	19	25 +6%	12	14	20 +6%	36	42	57 +6%	14	22	30 +6%	8	10	14 +6%
セールスエンジニア	12	20	29 +6%	12	14	20 +6%	36	42	57 +6%	14	25	37 +6%	8	10	14 +6%
アプリケーションエンジニア	11	16	21 +6%	16	17	18 +6%	36	42	57 +6%	13	21	30 +6%	12	13	17 +6%
プラントエンジニア	11	12	14 +6%	16	17	18 +6%	36	42	57 +6%	13	21	30 +6%	8	10	14 +6%
機械/機構/筐体/メカトロ設計	11	14	17 +6%	16	17	20 +6%	36	42	57 +6%	13	25	37 +6%	11	12	16 +6%
施工管理(建築・土木)	24	31	37 +6%	18	20	25 +6%	42	61	100 +6%	31	41	52 +6%	13	16	22 +6%
課長級	21	33	45 +6%	24	29	38 +6%	36	42	57 +6%	28	43	59 +6%	24	27	33 +6%
部長級	41	50	59 +6%	32	37	50 +6%	57	67	86 +6%	55	80	105 +6%	30	35	46 +6%
役員級	55	72	89 +6%	42	57	88 +6%	86	90	100 +6%	83	145	210 +6%	39	45	56 +6%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
38	45	57	+6%

1千米ドル = 132,460 円
(単位：千米ドル / 年)

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業		ローカル企業											
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー										
非管理職級	12	13	15	+6%	14	14	15	+6%	21	25	35	+6%	16	18	22	+6%	14	14	16	+6%
課長級	17	22	35	+6%	27	31	41	+6%	35	39	48	+6%	40	42	48	+6%	28	29	33	+6%
部長級	31	33	38	+6%	35	36	40	+6%	48	54	69	+6%	61	70	87	+6%	40	47	61	+6%
役員級	40	43	52	+6%	52	55	64	+6%	69	75	88	+6%	105	115	135	+6%	67	76	95	+6%

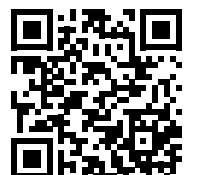
INDIA

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



インド

14 億

人口

6.1%

経済成長率
(2023 IMF)

3.8 兆

US\$ GDP

5.1%

消費者物価上昇率
(2023 IMF)

経済動向

新型コロナウイルス感染状況の改善により、行動規制が大幅に緩和された。デルタ株（第2波）の影響による経済の低迷からの回復局面が続いており、特に四輪、二輪などの製造業、サービス業、小売業の回復が顕著で第2波の景気低迷から改善に転じている。足元ではコロナ前の水準まで回復し、経済活動も正常化し始めている。ロックダウンにより買い控えていた消費者の購買意欲が戻りつつある。

名目GDP：3.8兆米ドル。

実質GDP成長率：8.7%（2021年）。6.8%（2022年）。6.1%（2023年）。

一人当たりGDP：2,691米ドル。

消費者物価上昇率：6.9%（2022年）。5.1%（2023年）。

対内直接投資：2016年より各産業で規制緩和が進み始めている。業種は主に防衛関連産業、小売業に続き、食品分野など。

総人口：14億人。ロックダウン緩和により20%以上といわれていた失業率も改善傾向にある。

2016年11月に高額紙幣廃止を断行、2017年7月に従来 of 州ごとの複雑な間接税制に代わり全国共通の物品・サービス税 (GST) 導入を実施した。

採用動向

新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きを見せたことで一時帰国していた日本人もインドに戻り、採用活動が一気に活発化している。製造業だけでなく、会計コンサルティングやサービス関連の業種なども採用強化し始めるなど、コロナ発生前に近い採用状況まで戻ってきている。特に営業職などでは増員のため採用活動を実施しても他社からの内定が重なり採用できないケースも多くなっている。

現地化に伴い、製造プロセスの強化を図るポジションや現場および部門間との連携を強化するための人事やシニアポジションでのインド人が増えている。中でも購買、経理、HRなどの部門強化を図る企業は増加傾向にある。コロナ後、従来日本人が採用されていたポジションに日本語流暢なインド人が採用されたケースも目立つ。採用背景が以前より明確で、具体的なスキルや実務経験を求める求人が増加している。

言語・教育：インドは言語、経験、宗教などが多様性に富んでいるが、大学進学率は約25%と低い。しかしほとんどのホワイトカラー人材は大卒あるいは大学院卒が一般的であり、英語を話す。

人材の流動性は非常に高く、狭いマーケット内でも競合への転職も多い。特にスタッフ～マネージャーレベルまでの人材層では1～3年で転職を繰り返すケースが多く、その理由のほとんどが給与アップ目的である。



規制緩和の効果を含む
内需の拡大



高い昇給率

日本人：現地採用数は全体としては年々増加傾向にある。ただし、日本人は就労ビザの制約で相対的に給与が高いため、欠員補充などの不可欠なポジションが中心の傾向が強い。昨今は日系企業だけでなく、他の外資系企業、インド資本企業などがジャパンデスクとして日系企業開拓目的に日本人を採用するケースも増加している。また、日系企業ではインド就業経験のある日本人を求める傾向が強くなっている。増えてはいるものの、インド就業経験を持つ日本人候補者は少なく、需給は厳しい。

近年、外国人ホワイトカラー人材のビザ取得難易度自体の変化はないものの、取得に必要な期間はばらつきがあるので注意が必要である。難易度は同じではあるが、最近ではビザ申請時に大使館が面談を求め、これまでの実務経験を確認するケースもある。新型コロナウイルスの影響によりビザの発給に影響が及んでいたが、現在では通常通り発給されるようになった。

インド人日本語スピーカー：依然大きな採用ニーズがあり、日本語能力さえ保持していれば職が見つかる。昨今では日本語スピーカーに「経理スキル」や「営業スキル」といったスキルを求めるケースが増えてきているが、その採用難易度は特に高い。

インドの職場慣習を理解した上で採用活動を進める必要がある。面接では細かく丁寧に質問・確認し、当該業務が本当に候補者に遂行可能か、能力があるかを具体的に細かく確認する方が良い。社内環境を良好にし、風通しの良い文化形成を心掛け、査定の際には給与上昇（約10%が目安）を実施することがリテンションに繋がる。

当地のホワイトカラー人材は、国内の転勤についてかなり保守的である。その背景には言語の違いだけでなく、気候や食べ物の差などがある。また家族を大切にする風習からも大きな抵抗感を持っている。インドでは長男は結婚とともに帰郷をする慣習もあり、結婚を理由に離職されるリスクもある。

近年は経営層に現地国籍社員を登用するか登用を検討している日系企業が増えている。進出歴が長い企業はその傾向が強く、特に大手企業で強い。

不況の自動車業界でも、マネジメントなど重要ポジションは採用を実施している。

給与動向

近年の給与相場は、一般的傾向として年10%以上の昇給が続いている。また、転職時には求職者が20~30%の給与上昇を求める事が一般的である。2020年はコロナ禍により全体的に賃金上昇率がかなり鈍化した。2021年以降は回復傾向にある。

“

生産の回復に伴い、製造プロセス関連のマネージャーポジション、また経営層との連携強化のため、HRや日本語スピーカーを採用する企業が増加しつつあります。

”

外国人には就労ビザの関係により、1,625,000ルピー（250万円相当）／年の給与支払いが義務付けられている。

日本語スピーカーは希少価値上昇に応じて、給与水準が引き続き上昇傾向にある。

地域別のホワイトカラーの給与相場としてはムンバイが最も高く、デリー、バンガロール、チェンナイなどが続く。差は10～20%程度である。

経験を持つ人材が少ないため、給与は比較的経験年数に関連する傾向も高い。

日系企業の大卒初任給の平均は約340千ルピー（55万円相当）、大学院卒初任給の平均は約420千ルピー（約67万円相当）となっている。

工場労働者の基本給は250千ルピー（40万円相当）／年程度。店員の基本給は200～400千ルピー（30～60万円相当）／年程度である。

法定最低賃金（デリー）：569ルピー（約800円）／日。インドの最低賃金制度は業種、職種、州などによっても異なり非常に複雑であるため注意が必要である。



凡例 >>

下	最頻	上	前年比	1千インドルピー = 1,600 円 (単位: 千インドルピー / 年)
3,400	3,800	5,600	+10%	

管理部門

経理職

ポジション	日系企業						外資系企業									
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー									
非管理職級	400	600	1,400	+10%	1,100	1,300	1,800	+10%	2,400	2,500	2,800	+10%	1,400	1,500	1,800	+10%
課長級	1,200	1,100	2,100	+10%	1,800	2,100	3,100	+10%	2,400	2,700	4,200	+10%	2,200	2,300	2,700	+10%
部長級	2,100	2,800	5,300	+10%	N/A				4,200	4,600	6,300	+10%	3,400	3,800	5,600	+10%
役員級	6,100	7,200	11,200	+10%	N/A				N/A				7,000	8,300	13,300	+10%

人事職

ポジション	日系企業						外資系企業									
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー									
非管理職級	400	600	1,300	+10%	1,000	1,100	1,800	+10%	2,000	2,500	2,900	+10%	1,100	1,200	1,500	+10%
課長級	1,200	1,400	1,900	+10%	1,500	2,100	3,100	+10%	2,400	2,600	3,500	+10%	1,700	1,800	2,100	+10%
部長級	1,900	2,600	5,200	+10%	N/A				N/A				2,200	3,000	5,900	+10%
役員級	5,000	5,800	8,900	+10%	N/A				N/A				4,900	5,900	9,800	+10%

総務職

ポジション	日系企業						外資系企業									
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー									
秘書・アシスタント・総務庶務	800	900	1,100	+10%	1,000	1,200	2,100	+10%	1,800	2,500	2,900	+10%	1,400	1,500	1,700	+10%
会社秘書 (CS 資格保持者)	1,000	1,200	2,200	+10%	N/A				N/A				1,900	2,100	2,500	+10%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
3,400	3,800	5,600	+10%

1千インドルピー = 1,600円
(単位: 千インドルピー / 年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業									
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー									
非管理職級	600	700	1,400	+10%	900	1,200	1,800	+10%	2,000	2,200	2,500	+10%	1,000	1,100	1,400	+10%
課長級	1,400	1,600	2,500	+10%	1,800	2,100	3,100	+10%	2,200	2,400	3,500	+10%	1,900	2,100	2,800	+10%
部長級	2,500	3,000	5,100	+10%	N/A		N/A		N/A		N/A		3,000	3,700	6,400	+10%
役員級	7,000	7,500	9,800	+10%	N/A		N/A		N/A		N/A		7,600	8,600	12,700	+10%

IT系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業									
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー									
非管理職級	700	1,000	2,100	+10%	1,000	1,100	1,800	+10%	2,400	2,500	2,800	+10%	1,100	1,300	2,100	+10%
課長級	2,200	2,400	3,500	+10%	1,800	2,100	3,100	+10%	2,400	2,700	4,200	+10%	2,400	2,600	3,500	+10%
部長級	3,500	4,100	6,300	+10%	N/A		N/A		N/A		N/A		4,200	4,800	7,000	+10%
役員級	7,700	8,400	11,200	+10%	N/A		N/A		N/A		N/A		8,400	9,500	14,000	+10%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比	1千インドルピー = 1,600 円 (単位: 千インドルピー / 年)
3,400	3,800	5,600	+10%	

製造業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	600	700	1,000	1,000	1,200	2,100	2,400	2,500	2,800	600	700	1,000
課長級	900	1,000	1,800	1,800	2,100	3,100	2,400	2,600	3,400	1,300	1,400	1,900
部長級	1,400	1,600	2,400	N/A			3,400	3,900	6,000	2,200	2,400	3,100
役員級	4,200	5,000	8,400	N/A			N/A			5,600	6,400	9,800

マニュファクチャリング系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	600	700	800	900	1,100	1,800	2,400	2,600	3,500	400	500	1,000
課長級	800	1,000	1,700	1,800	2,100	3,500	2,800	3,200	4,600	1,300	1,400	1,800
部長級	1,500	1,800	2,700	N/A			4,200	4,800	7,000	2,200	2,400	3,100
役員級	4,600	5,500	9,200	N/A			N/A			5,600	6,400	9,800

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー		
非管理職級	500	600	1,000	900	1,100	1,800	1,800	2,500	3,000	600	700	1,000
課長級	1,000	1,100	1,800	1,800	2,100	3,100	2,400	2,700	5,000	1,300	1,400	1,800
部長級	1,900	2,100	2,800	N/A			N/A			2,200	2,400	2,800
役員級	3,900	4,700	7,700	N/A			N/A			4,900	5,700	9,100

CHINA

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



中国

14 億
人口

19 兆
US\$ GDP

4.4%
経済成長率
(2023 IMF)

13,629
US\$ 一人当たり GDP

経済動向

名目GDP：19兆米ドル（2023年）。

実質GDP成長率：8.1%（2021年）。3.2%（2022年）。4.4%（2023年）。コロナ禍による落ち込みから2021年には急回復を見せたが、2022年に入って状況が悪化。上半期（3/28-6/1）には最大都市である上海でもロックダウンが実施され、成長に急ブレーキがかかった。下半期に入り少しずつ動き出してきてはいるが、以前の状態に戻るにはまだ時間がかかりそうな見込みである。

一人当たりGDP：13,629米ドル。

消費者物価上昇率：2.2%（2023年）。

総人口：14億人。/ 失業率：4.1%（2023年）

（2022年11月現在）新型コロナウイルスの経済活動への影響が世界的に低減している中、依然としてゼロコロナ政策を堅持しており、厳格な対応が続いている状況。容易な緩和はあまり見込めず、少なくとも2023年の第1四半期までは継続されるという見方が広がっている。

2022年1～7月の自動車販売台数は前年同期比2.0%減の1,447万7,000台となっている。コロナ感染拡大を受け、複数都市で都市封鎖などの強力な措置が取られた影響もあり、3～5月は前年同月比で減少した。特に上海市で厳格な都市封鎖が本格化した4月は前月比47.6%減と大幅に減少。その後、コロナ対策の緩和や政府による消費促進策などもあり、単月では6月が34.4%増の250万2,000台、7月が29.7%増の242万台と反転した。生活に支障をきたす水準のコロナ政策が、いつまで解除されないのか不透明という状況が続き、市民の間ではコロナ疲れが広がっている。ゼロコロナ政策廃止への期待は根強いものの、2022年秋の共産党大会で、ゼロコロナ政策を継続することが発表された。(2022年11月現在)



IT / DX の進展



民営企業の高い昇給率

採用動向

ジェイ エイ シー リクルートメント 上海 (中国) では、2022年における新規求人数が昨年対比で大幅なマイナスとなっている。足元の採用ニーズの傾向としては、離職に伴う補填採用が大多数。各業界の採用動向は以下の通り。

製造業： 上海ロックダウンなどの影響は軽微であり、比較的好調に推移。自動車産業のような「エンドユーザーが中国国内」という業界では、商品開発・マーケティングの質・スピードを上げるために中国での積極的な投資が行われている。日本の開発拠点の一部を中国に移転する企業もあり、中国人技術者の採用ニーズもある。中国人技術者の場合、日本本社や社内の管理職層日本人とのコミュニケーションのため「ビジネスレベルの日本語能力必須」としているケースが多く、技術力と日本語力を合わせ持つ人材は非常に少ないため採用に苦戦している。そのため、一部の企業では「中国語を話せる日本人マネジメント・技術者」を採用し、中国人技術者の日本語能力を不問とする事例もある。

サービス： 上海ロックダウンにより、2022年の上半期に増員計画があったはずのコンサルティングファームなど、多くの企業で計画の見直しが行われ、増員募集を打ち切って、離職による欠員補充枠のみ採用継続という動きが目立った。外資系のコンサルファームでの対日系企業向けビジネス (ジャパンデスク) 拡大の動きは根強く、即

戦力人材については完全な売り手市場である。また物流会社では入境規制により国際ビジネスの先行きが見えない中、新たな領域（医薬や化学）などの専門人材を採用し、国内事業の拡充を検討するなどの動きがある。

FMCG（食品/日用品）： 巨大な内需需要を見越し、設備・人材に積極的な投資をする企業が目立つ。日系企業の場合、「中国のマーケットに入り込んでいける人材」を最優先とし、これまで必須条件としていた「日本語（もしくは英語）」の要求を緩和する動きもみられる。「中国市場に強いネットワークを持つ営業人材」「中国人に受け入れられる商品づくりを進められるマーケティング・開発人材」などのニーズもある。一方、中国系企業・欧米系企業との給与格差は未だに解消されず、内定条件のミスマッチによる内定辞退なども多い。

IT： 中国系の巨大IT企業が軒並み優秀人材を獲得している中、日系IT企業は人材獲得に苦戦している。また、一部の外資系企業では労働集約型のオフショア開発の一部部門を、IT人材の人件費高騰を理由にインドなど他のIT大国に移管している。ビジネスモデル変革のために社内にDX人材を抱える企業が増え、英語や日本語などの要件を外し、スキル重視で中国企業出身のDigital人材を採用するケースが増加している。中国企業に勤めるDX人材は、通常の給与の他にボーナス、インセンティブ、ストックオプション等を支給するなど、既存の給与システムに合致しないこともしばしばあり、個別の給与テーブルを設けて採用を乗り切る事例もある。

日本人採用： （2022年11月現在）依然としてゼロコロナ政策が維持されているものの、新規ビザ発給の必須条件であった招聘状が不要となったこと、海外渡航者の隔離日数が計14日間から計10日間まで短縮されたこともあり、規制ピーク時よりはビザ発給がしやすい状況に戻ってきつつある。コロナ禍中においては、中国現地在住の日本人のみを採用対象としてきた企業が、在日本など国外の日本人にも目を向けるようになってきている。

中国民営系企業： 中国民営系製造業企業より、引き続き「日本人技術者を採用したい」というニーズは多い。また、最近では中国での医療業界の成長を受けて、医療機器業界の中国民営系企業からも日本人を採用したいという相談が増えている。しかし、中国民営系企業が日本人を採用する場合、雇用や働き方の考え方において乖離や相違がみられ、入社後にトラブルとなる事例もある。

“

求人市場は全体的に回復基調にあり、
経験者へのニーズが増加しています。

”

給与動向

製造業、中でも主に半導体・医療・医薬業界他、電子・化学などの業界では増員の動きがある一方、食品・日用品業界は減少傾向にある。一人で二役をこなせるような優秀人材の獲得競争が激化し、中途採用時のオファー給与額は上昇傾向にある。

全国都市非私営単位就業人員賃金（代表的な賃金統計）= 106,837元（2021年平均）。前年比+9.7%。成長率は前回2020年の+7.6%から、2.1%アップとなった。業種別で多少の差異があるものの全ての業界で上昇となった（2020年は宿泊・飲食業がマイナス成長）。特に、情報通信・ソフトウェア・情報技術サービス業は+13.5%、次いで金融業が+13.1%と、全体平均以上の昇給率となっている。

中国民営系企業の給与は依然として高く、日系のみならず欧米系と比較しても高い昇給率で中国全体を牽引している。以前から給与水準が高い欧米系外資系企業、この数年特に高い昇給率を続けている中国民営系企業と、日系企業との給与格差問題は依然深刻で、待遇面における日系企業の競争力は年々低下している。

最低賃金(上海市): 2,590元/月(2021年7月～)。ほぼ毎年の引上げがある中、2020及び2022年は異例の据え置きとなっている。



凡例 >

下	最頻	上	前年比
320	380	550	+5%

1千人民元 = 19,220円
(単位：千人民元 / 年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業				外資系企業							
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	英語スピーカー						
非管理職級	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹²⁰ +5%	170	190 ²⁶⁰ +5%	100	110 ¹⁵⁰ +8%	120	130 ¹⁶⁰ +8%
課長級	110	120 ¹⁸⁰ +5%	110	120 ¹⁸⁰ +5%	140	160 ²²⁰ +5%	240	250 ³⁰⁰ +5%	170	190 ²⁹⁰ +8%	310	330 ⁴²⁰ +8%
部長級	140	180 ³⁶⁰ +5%	180	230 ⁴²⁰ +5%	220	260 ⁴²⁰ +5%	300	350 ⁵⁰⁰ +5%	290	360 ⁵⁹⁰ +8%	320	380 ⁵⁹⁰ +8%
役員級	N/A		360	420 ⁶⁷⁰ +5%	360	430 ⁷²⁰ +5%	370	440 ⁷⁵⁰ +5%	440	530 ⁸⁹⁰ +8%	440	550 ^{1,000} +8%

人事職

ポジション	日系企業				外資系企業							
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	英語スピーカー						
採用	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹⁴⁰ +5%	170	180 ²⁴⁰ +5%	100	120 ²¹⁰ +8%	110	140 ²⁶⁰ +8%
教育研修・組織開発	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹⁴⁰ +5%	170	180 ²⁴⁰ +5%	110	130 ²¹⁰ +8%	110	140 ²⁶⁰ +8%
制度・給与と社保	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹⁴⁰ +5%	170	180 ²⁴⁰ +5%	110	130 ²¹⁰ +8%	110	140 ²⁶⁰ +8%
課長級	140	170 ³⁰⁰ +5%	140	170 ³⁰⁰ +5%	140	180 ³⁴⁰ +5%	240	250 ³⁰⁰ +5%	210	250 ⁴¹⁰ +8%	260	290 ⁴¹⁰ +8%
部長級	300	330 ⁴²⁰ +5%	300	330 ⁴²⁰ +5%	300	340 ⁴⁶⁰ +5%	300	350 ⁵⁰⁰ +5%	410	450 ⁶²⁰ +8%	410	450 ⁶²⁰ +8%
役員級	N/A		360	420 ⁶⁹⁰ +5%	420	480 ⁷²⁰ +5%	480	540 ⁷²⁰ +5%	620	750 ^{1,300} +8%	620	750 ^{1,300} +8%

総務職

ポジション	日系企業				外資系企業							
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	英語スピーカー						
秘書・アシスタント・総務庶務	80	90 ¹²⁰ +5%	80	90 ¹⁸⁰ +5%	80	90 ¹⁸⁰ +5%	170	180 ²⁴⁰ +5%	100	110 ¹⁵⁰ +8%	100	140 ²⁹⁰ +8%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
320	380	550	+5%

1千人民元 = 19,220円

(単位:千人民元/年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	
リテール営業	N/A	N/A	N/A	N/A	180	190 250 +8%
事業法人営業	N/A	160 200 370 +5%	160 200 370 +5%	N/A	240	290 530 +8%
課長級	N/A	270 340 570 +5%	270 340 570 +5%	N/A	400	480 800 +8%
部長級	N/A	600 720 1,200 +5%	600 720 1,200 +5%	N/A	870	1,100 2,200 +8%
役員級	N/A	1,500 1,900 3,500 +5%	1,500 1,900 3,500 +5%	N/A	2,200	2,800 5,000 +8%

金融系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業	
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	
合併/買収	270 350 640 +5%	370 440 720 +5%	290 440 720 +5%	370 460 860 +5%	530	670 1,200 +8%
ファンドマネージャー	160 240 570 +5%	250 350 720 +5%	250 350 720 +5%	230 340 750 +5%	320	480 1,100 +8%
リスク管理	160 210 420 +5%	230 290 570 +5%	230 290 570 +5%	230 290 570 +5%	320	420 800 +8%
プライベートエクイティ	N/A	360 480 970 +5%	360 480 970 +5%	270 410 950 +5%	400	590 1,400 +8%
課長級	N/A	360 410 600 +5%	440 500 600 +5%	470 540 750 +5%	530	640 1,100 +8%
部長級	N/A	600 720 1,200 +5%	580 740 1,200 +5%	750 900 1,500 +5%	1,100	1,300 2,200 +8%
役員級	N/A	1,600 2,000 4,000 +5%	1,600 2,000 4,000 +5%	1,900 2,300 4,000 +5%	2,700	3,200 5,500 +8%

凡例 >>

下	最頻	上	前年比
320	380	550	+5%

1千人民元 = 19,220円

(単位:千人民元/年)

コンシューマーズグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	
非管理職級	90 110 140 +5%	90 110 150 +5%	90 110 150 +5%	240 250 320 +5%	150 160 190 +8%	330 360 450 +8%	170 180 220 +8%	
課長級	120 140 180 +5%	140 160 230 +5%	140 160 230 +5%	320 330 390 +5%	190 220 310 +8%	450 480 580 +8%	220 250 400 +8%	
部長級	200 220 250 +5%	230 240 300 +5%	230 240 300 +5%	390 420 560 +5%	310 320 390 +8%	580 630 800 +8%	460 510 670 +8%	
役員級	240 280 470 +5%	360 420 670 +5%	360 420 670 +5%	470 540 790 +5%	390 490 890 +8%	670 770 1,100 +8%	670 750 1,100 +8%	

コンシューマーズグッズ系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業		
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー
プロダクトマネージャー / ブランドマネージャー	170 190 290 +5%	220 250 370 +5%	220 250 370 +5%	240 270 390 +5%	N/A	N/A	240 300 550 +8%
購買	120 160 300 +5%	200 230 360 +5%	170 200 300 +5%	240 270 390 +5%	N/A	N/A	220 250 380 +8%
課長級	170 190 290 +5%	220 250 370 +5%	220 250 370 +5%	240 280 470 +5%	N/A	N/A	230 260 390 +8%
部長級	450 480 620 +5%	450 480 620 +5%	370 400 530 +5%	470 500 620 +5%	N/A	N/A	480 510 660 +8%
役員級	580 630 860 +5%	580 630 860 +5%	460 540 810 +5%	620 650 790 +5%	N/A	N/A	620 680 920 +8%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
320	380	550	+5%

1千人民元 = 19,220円
(単位:千人民元/年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	
非管理職級	120 130 160 +5%	150 160 220 +5%	150 160 220 +5%	240 250 290 +5%	180 190 240 +8%	330 350 410 +8%	220 230 270 +8%	
課長級	190 200 250 +5%	150 180 290 +5%	190 210 290 +5%	240 270 390 +5%	240 260 350 +8%	350 390 580 +8%	270 300 410 +8%	
部長級	N/A	350 420 690 +5%	350 420 690 +5%	350 420 690 +5%	490 560 850 +8%	490 560 850 +8%	490 560 850 +8%	
役員級	N/A	500 590 920 +5%	500 590 920 +5%	500 590 920 +5%	550 680 1,200 +8%	N/A	1,000 1,300 2,500 +8%	

IT系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	
ITコンサルタント	160 180 270 +5%	190 250 490 +5%	190 250 480 +5%	240 270 390 +5%	290 330 530 +8%	350 390 550 +8%	360 410 630 +8%	
プロジェクトマネージャー	N/A	340 370 510 +5%	340 370 500 +5%	240 270 390 +5%	380 430 630 +8%	350 390 580 +8%	440 510 760 +8%	
SE	140 160 250 +5%	150 170 260 +5%	150 170 250 +5%	240 250 320 +5%	240 260 350 +8%	350 370 450 +8%	290 310 390 +8%	
テクニカルサポート	110 120 160 +5%	120 140 240 +5%	120 140 230 +5%	150 180 320 +5%	210 230 310 +8%	240 280 450 +8%	240 260 360 +8%	
ネットワークエンジニア	140 180 340 +5%	150 190 370 +5%	150 190 360 +5%	320 350 470 +5%	250 290 460 +8%	450 500 690 +8%	290 350 540 +8%	
課長級	N/A	340 370 510 +5%	340 370 500 +5%	390 410 470 +5%	380 420 600 +8%	580 600 690 +8%	440 480 620 +8%	
部長級	N/A	420 460 610 +5%	420 450 600 +5%	470 500 620 +5%	530 590 850 +8%	690 730 930 +8%	600 680 970 +8%	
役員級	N/A	480 550 800 +5%	480 550 790 +5%	620 650 790 +5%	600 720 1,200 +8%	N/A	940 1,200 2,500 +8%	



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
320	380	550	+5%

1千人民元 = 19,220円
(単位：千人民元 / 年)

製造業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業										
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー				
海外営業	80	90	130	140	180	180	215	250	360	150	190	230	260	390	150	210	440
国内営業	80	90	130	140	180	180	215	250	360	150	190	230	260	390	150	210	440
商社 (工業系)	80	90	130	140	180	180	215	250	300	150	190	230	260	390	150	190	370
課長級	150	160	250	250	300	300	270	320	480	260	350	370	440	750	370	440	750
部長級	230	250	350	330	420	420	350	400	600	370	420	660	700	890	660	700	890
役員級	350	380	510	470	670	670	480	550	790	660	700	890	830	1,200	750	830	1,200

マニュファクチュアリング系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業										
	ローカルスタッフ		英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー				
品質管理・品質保証	80	90	130	110	145	145	260	300	420	130	150	220	290	360	130	150	220
サービスエンジニア	80	90	130	110	145	145	240	380	420	130	150	220	260	400	130	150	220
セールスエンジニア	80	90	130	145	180	240	145	180	240	130	150	220	260	400	130	150	220
アプリケーションエンジニア	80	90	150	145	180	240	145	180	240	160	180	290	290	400	160	180	290
プラントエンジニア	100	110	150	145	180	240	145	180	240	170	190	290	290	400	170	190	290
機械／機構／ 管体／メカトロ設計	100	130	190	145	180	240	145	180	240	170	220	370	290	400	170	220	370
施工管理 (建築・土木)	100	150	300	100	110	145	100	110	145	170	230	440	290	400	170	230	440
課長級	190	200	300	180	200	300	180	200	300	290	330	520	370	440	290	330	520
部長級	300	340	480	300	360	550	300	360	550	440	510	790	440	530	440	510	790
役員級	420	450	600	550	590	750	550	590	750	590	720	1,200	750	840	590	720	1,200



凡例 >

下	最頻	上	前年比
320	380	550	+5%

1千人民元 = 19,220円
(単位：千人民元 / 年)

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	ローカルスタッフ	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	
非管理職級	80 90 130 +5%	80 90 130 +5%	90 110 140 +5%	150 170 240 +5%	110 120 170 +8%	230 250 330 +8%	130 140 210 +8%	
課長級	140 160 220 +5%	140 160 220 +5%	150 170 240 +5%	240 250 320 +5%	210 230 310 +8%	330 360 450 +8%	250 270 380 +8%	
部長級	220 230 270 +5%	220 260 450 +5%	240 280 450 +5%	320 370 600 +5%	310 360 540 +8%	450 480 580 +8%	380 420 620 +8%	
役員級	330 360 490 +5%	330 480 1,100 +5%	360 510 1,100 +5%	360 410 620 +5%	490 640 1,200 +8%	530 600 920 +8%	580 710 1,200 +8%	

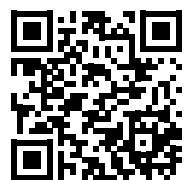
HONG KONG SAR

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



中国香港特别行政区

52,132

US\$ 一人当たり GDP

3.9%

経済成長率

(2023 IMF)

2.4%

消費者物価上昇率

(2023 IMF)

3,875 億

US\$ 名目 GDP

経済動向

名目GDP:0.4兆米ドル (2023年)。

実質GDP 成長率:6.3% (2021年) 。-0.9% (2022年) 。3.9% (2023年) 。

一人当たりGDP:52,132米ドル。

消費者物価上昇率:1.6% (2021年) 。1.9% (2022年) 。2.4% (2023年) 。

総人口:743万人。雇用者数:371万人。

失業率:4.0% (2023年) 。

第2四半期の-1.3%と第1四半期の-3.9%とGDP成長率は停滞し、不況に突入した。部分的な上昇も見られたものの、続く入境制限が輸出の停滞を招き、2022年のGDPは-0.5%から+0.5%が予測されている。経済正常化に向け、香港当局は検疫ルール緩和や消費バウチャーによる経済の活性化を図っている。

失業者数の継続的な減少は良い点である。失業率は7-9月の3.9%から8-10月の3.8%に低下した。コントロール可能なエンデミックとして、制限の緩和とさらなる地域経済の改善が期待される。

採用動向

全体的な求人数は増加しているが、採用市場はパンデミック前の状況への回復にはまだ程遠い。人材不足と不況の中、企業はハイブリッド勤務の提案、有期契約社員の無期化、キーポジションへの予算の増加などで人材への魅力付け、獲得と維持を図っている。過去2年の域外流出の状況はまだ克服されてはおらず、多くの人材は海外の案件に対して検討する姿勢を見せるのみならず、積極的に海外案件を探している。人材市場は選択肢の多い売り手優位の市場となっている。新長官は、人材を世界から集めることを当局の使命と述べた。

日系企業： 営業部門を香港から中国本土（華南地域）に移す動きが続いている。現地での日本人採用については、将来の香港拠点長候補や専門職、外資系企業における日本マーケット向け要員を中心に、就労資格が既にあり採用企業からの就労ビザ申請が不要な候補者を対象とした採用が目立つ。人材の現地化促進の動きは継続している。日本語スピーカーは依然、日系企業を志望する傾向が強い。

欧米系外資系企業： 数年前から、多国籍企業は中国の1級都市においてプレゼンスとハブを強化するトレンドにあるため、バイリンガルの中国人材には非常に強い採用ニーズがある。複数の外資系企業が、同じ優秀なバイリンガル中国人材の採用で競争になることも珍しくない。優秀な人材の採用のために、現在の年収の2倍の額を提示するケースも頻繁にある。

言語： ビジネス上は英語が通用するものの、必須言語として北京語の重要性が増す傾向が続いている。

外国人就労規制： 香港は、他のアジア諸国と比べると相対的にビザ取得のハードルは高い。ただ昨今、コロナ規制や政治的情勢を背景に国外に移住する香港人もいるため、比較的就労ビザの取得が容易になっており、取得までの時間も短縮されている。外国人（日本人）を域外から採用するケース自体は減少傾向にある。前述のように、日本語力を持つ人材の採用が必要な場合は、日本人ではなく、現地人の日本語スピーカーを主に採用している。ビザサポートの問題により、日系企業でも非日系企業でも、常に現地人材の採用に目を配っている。現地人材には現地マーケットの知識があり、海外から採用した人材が新規採用から投資を回収するまでに最低3-6ヶ月か

かるのに比べて、損益分岐点を超えるのが早いという利点もあり、各社が採用努力を注いでいる。

候補者の一部は、安全と安定の不確実性と生活費の高騰により香港で働く見通しに懐疑的である。香港はかつて採用の難易度がさほど高くなかったものの、現在では言語能力と適切な機能・技術的なスキル・経験を併せ持つ候補者の採用はさらに難しくなっている。さらに、香港から他国への移住の流れにより、社員の欠員補充やコントラクトでの一時的補充での採用が発生している。ある当社への採用依頼企業は、香港のプロフェッショナルポストの4割もの人材が他国に移住目的で香港のポストから離れたため、その欠員補充が目的であった。



コロナ禍からの回復の動き



採用競争が再び激化

給与動向

香港人材マネジメント協会 (HKIHRM) の調査によれば、2023年の平均昇給率は3.6%の予測である。

いずれにせよ、一律の昇給ではなく、ポスト毎、個人毎に差を拡大する企業が増加している。給与レンジについても、本社には定期昇給制度がある日系企業であっても、優秀な社員の採用・リテンション目的に香港拠点独自の評価制度を整えて昇給率に大きく差を付ける企業が増えている。

昨年見られたように、金融分野では、フロント、ミドル、バックオフィスとも、過去12か月にオファーされた人材は現給の15-25%増の額を提示された。他方、同じ12か月に、在香港日系企業が日本語人材を探す際には10-15%増でオファーしていた。昨年よりさらに魅力的なパッケージが必要になっている。

新事業や新分野で求められる高いスキル（例えば技術、データ分析）を持つ候補者を採用することは容易ではなく、そのようなハイスキル人材を採用するには30%を超える給与アップでのオファーが必要とされる。

CxOレベルの幹部採用：多くのエグゼクティブは、転職時に給与額の議論だけでなく、そもそもの役割の重要性、責任範囲の拡大などについて議論することを重視している。もし、採用を検討している新しいポジションが、候補者の過去の経験を活かしてより大きなインパクトを与えることが前提であれば、金銭的報酬については交渉が可能であることも多い。

香港の法定最低賃金は、昨年と同じ時給37.5香港ドル（約510円）。香港当局は2011年に最低賃金制度を導入してから2年ごとに最低賃金額を引き上げている。現在の最低賃金は2023年4月まで有効である。

“

ハイリスクな世界経済の予測は、未だ回復ペースの遅い香港経済にとって、大きなチャレンジとなります。

”



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
370	470	840	+4%

1千香港ドル = 16,880円
(単位:千香港ドル/年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業										
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー			英語スピーカー										
非管理職級	210	240	400	+4%	220	250	410	+4%	270	290	410	+4%	280	330	560	+4%	240	280	470	+4%
課長級	410	460	620	+4%	410	460	620	+4%	410	460	680	+4%	420	560	870	+4%	370	470	840	+4%
部長級	610	620	830	+4%	610	620	830	+4%	610	620	830	+4%	720	870	1,400	+4%	600	810	1,200	+4%
役員級	880	940	1,250	+4%	840	950	1,150	+4%	840	950	1,150	+4%	1,100	1,400	2,600	+4%	870	1,200	1,900	+4%

人事職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業										
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー			英語スピーカー										
採用	260	300	500	+4%	260	310	530	+4%	260	320	530	+4%	260	330	660	+4%	210	260	500	+4%
教育研修・組織開発	260	300	500	+4%	260	310	530	+4%	260	320	530	+4%	260	330	560	+4%	210	310	500	+4%
制度・給与と社保	260	300	500	+4%	260	310	530	+4%	260	320	530	+4%	260	370	620	+4%	210	310	560	+4%
課長級	410	470	550	+4%	410	470	550	+4%	410	470	550	+4%	560	690	870	+4%	500	560	690	+4%
部長級	570	620	730	+4%	570	620	730	+4%	570	620	730	+4%	810	940	1,100	+4%	750	870	1,100	+4%
役員級	740	780	830	+4%	740	780	830	+4%	740	780	830	+4%	1,000	1,400	2,000	+4%	900	1,200	1,700	+4%

総務職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業										
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー			英語スピーカー										
秘書・アシスタント・総務庶務	180	240	380	+4%	190	240	490	+4%	280	320	490	+4%	250	420	750	+4%	210	310	620	+4%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
370	470	840	+4%

1千香港ドル = 16,880円
(単位: 千香港ドル / 年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業						
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー			英語スピーカー						
リテール営業	N/A		N/A		N/A		190	210	310	+4%	190	210	310	+4%		
事業法人営業	210	240	360	+4%	210	240	360	+4%	210	240	360	+4%	250	310	420	+4%
課長級	360	410	580	+4%	360	410	580	+4%	360	410	580	+4%	420	520	620	+4%
部長級	470	510	690	+4%	470	510	690	+4%	470	510	690	+4%	520	680	780	+4%
役員級	790	880	1,300	+4%	790	880	1,300	+4%	790	880	1,300	+4%	840	1,250	2,100	+4%

金融系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業						
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー			英語スピーカー						
M&A Associate	490	1,050	3,300	+4%	490	1,050	3,300	+4%	490	1,050	3,300	+4%	660	1,400	4,400	+4%
M&A VP	1,100	1,600	1,900	+4%	N/A		N/A		1,600	2,300	3,300	+4%	1,250	1,900	3,300	+4%
プライベートバンク RM	620	870	1,900	+4%	620	870	1,900	+4%	620	870	1,900	+4%	690	1,250	2,100	+4%
ファンドマネージャー	860	1,350	3,300	+4%	860	1,350	3,300	+4%	860	1,350	3,300	+4%	860	1,600	4,400	+4%
リスク管理	490	810	2,100	+4%	490	810	2,100	+4%	490	810	2,100	+4%	490	1,000	3,000	+4%
コンプライアンス	490	810	2,100	+4%	490	810	2,100	+4%	490	810	2,100	+4%	500	810	2,100	+4%
審査	370	620	1,900	+4%	370	620	1,900	+4%	370	620	1,900	+4%	370	620	1,900	+4%
PE/VC - 投資担当	N/A		N/A		N/A		N/A		660	1,900	2,500	+4%	660	1,560	2,100	+4%
PE/VC - IR	N/A		N/A		N/A		N/A		660	1,900	2,500	+4%	660	1,560	2,100	+4%
課長級	1,000	1,200	2,200	+4%	1,000	1,200	2,200	+4%	1,000	1,200	2,200	+4%	1,000	1,300	2,800	+4%
部長級	1,300	1,600	2,800	+4%	1,300	1,600	2,800	+4%	1,300	1,600	2,800	+4%	1,900	2,100	3,300	+4%
役員級	2,000	2,200	3,200	+4%	2,000	2,200	3,200	+4%	2,000	2,200	3,200	+4%	3,700	3,800	4,200	+4%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
370	470	840	+4%

1千香港ドル = 16,880円
(単位:千香港ドル/年)

コンシューマーズグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー
国内法人営業	180 200 340 +4%	190 210 360 +4%	270 280 340 +4%	250 280 450 +4%	230 270 450 +4%		
海外営業	200 250 370 +4%	210 260 380 +4%	310 340 410 +4%	290 340 580 +4%	290 340 580 +4%		
課長級	340 380 550 +4%	340 380 550 +4%	340 380 550 +4%	450 560 870 +4%	350 560 750 +4%		
部長級	560 580 690 +4%	560 580 690 +4%	560 580 690 +4%	780 930 1,150 +4%	750 850 1,000 +4%		
役員級	700 780 830 +4%	700 780 830 +4%	700 780 830 +4%	850 1,600 3,400 +4%	750 1,300 2,300 +4%		

コンシューマーズグッズ系専門職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー
プロダクトマネージャー/ ブランドマネージャー	340 380 550 +4%	340 380 550 +4%	340 380 550 +4%	420 500 840 +4%	420 500 840 +4%		
マーチャンダイザー	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	210 260 370 +4%	210 260 370 +4%		
ピーアール	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	270 350 690 +4%	270 350 690 +4%		
Web/ モバイルマーケティング	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	270 330 530 +4%	270 330 530 +4%		
購買	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	270 320 470 +4%	270 320 470 +4%		
サプライチェーン/ ロジスティクス/倉庫	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	210 230 340 +4%	250 310 370 +4%	250 310 370 +4%		
課長級	340 380 550 +4%	340 380 550 +4%	340 380 550 +4%	370 520 810 +4%	350 440 750 +4%		
部長級	560 580 690 +4%	560 580 690 +4%	560 580 690 +4%	720 880 1,150 +4%	620 690 870 +4%		
役員級	700 780 1,150 +4%	700 780 1,150 +4%	700 780 1,150 +4%	750 1,500 2,700 +4%	690 1,000 1,150 +4%		



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
370	470	840	+4%

1千香港ドル = 16,880円
(単位:千香港ドル/年)

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業			外資系企業		ローカル企業	
	英語スピーカー	日本語スピーカー	日本語ネイティブスピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー	英語スピーカー
医薬情報担当者	240 270 430 +4%	240 270 430 +4%	290 310 430 +4%	220 260 430 +4%	220 260 430 +4%	220 260 430 +4%	220 260 430 +4%
医療機器営業	280 300 430 +4%	280 300 430 +4%	280 300 430 +4%	280 330 560 +4%	280 330 560 +4%	280 330 560 +4%	280 330 560 +4%
課長級	420 470 720 +4%	420 470 720 +4%	420 470 720 +4%	460 550 930 +4%	460 550 930 +4%	460 550 930 +4%	460 550 930 +4%
部長級	500 600 1,100 +4%	500 640 1,300 +4%	500 640 1,300 +4%	560 730 1,400 +4%	560 730 1,400 +4%	560 730 1,400 +4%	560 730 1,400 +4%
役員級	900 1,300 2,800 +4%	900 1,300 2,800 +4%	900 1,300 2,800 +4%	1,800 2,600 6,000 +4%	1,800 2,600 6,000 +4%	900 1,500 3,600 +4%	900 1,500 3,600 +4%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
370	470	840	+4%

1千香港ドル = 16,880円
(単位:千香港ドル/年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー					
非管理職級	230	260	420 +4%	240	270	420 +4%	300	320	430 +4%	240	280	450 +4%	230	270	450 +4%
課長級	360	410	580 +4%	360	410	580 +4%	360	410	580 +4%	360	440	750 +4%	360	440	750 +4%
部長級	590	730	1,300 +4%	590	730	1,300 +4%	600	730	1,300 +4%	750	900	1,600 +4%	620	770	1,400 +4%
役員級	1,000	1,300	2,400 +4%	1,000	1,300	2,400 +4%	1,000	1,300	2,400 +4%	1,200	1,900	4,800 +4%	1,000	1,300	2,400 +4%

IT 系専門職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業					
	英語スピーカー			日本語スピーカー			日本語ネイティブスピーカー			英語スピーカー					
カスタマーエクスペリエンス	470	600	780 +4%	470	600	780 +4%	500	620	810 +4%	500	620	810 +4%	400	570	680 +4%
ブロックチェーン/AI	570	1,150	1,800 +4%	570	1,150	1,800 +4%	600	1,300	1,900 +4%	600	1,300	1,900 +4%	470	1,000	1,500 +4%
データサイエンティスト	570	1,200	1,800 +4%	570	1,200	1,800 +4%	600	1,350	1,900 +4%	600	1,400	1,900 +4%	500	890	1,600 +4%
IT コンサルタント	450	530	880 +4%	450	530	880 +4%	450	530	880 +4%	750	890	1,500 +4%	640	790	1,400 +4%
プロジェクトマネージャー	530	780	1,800 +4%	530	780	1,800 +4%	530	780	1,800 +4%	740	950	1,800 +4%	530	740	1,600 +4%
SE	290	340	580 +4%	290	340	580 +4%	290	340	580 +4%	290	340	580 +4%	270	330	580 +4%
テクニカルサポート	240	280	450 +4%	240	280	450 +4%	260	290	450 +4%	230	270	450 +4%	230	270	450 +4%
ネットワークエンジニア	290	340	580 +4%	290	340	580 +4%	310	360	580 +4%	290	340	580 +4%	290	340	580 +4%
課長級	580	700	1,200 +4%	580	700	1,200 +4%	580	700	1,200 +4%	580	700	1,200 +4%	580	700	1,200 +4%
部長級	620	750	1,300 +4%	620	750	1,300 +4%	620	750	1,300 +4%	750	870	1,400 +4%	620	730	1,200 +4%
役員級	1,000	1,300	2,400 +4%	1,000	1,300	2,400 +4%	1,000	1,300	2,400 +4%	1,200	1,900	4,800 +4%	1,000	1,300	2,400 +4%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比
370	470	840	+4%

1千香港ドル = 16,880円
(単位：千香港ドル / 年)

製造業界

専門職

ポジション	日系企業						外資系企業			ローカル企業					
	英語スピーカー		日本語スピーカー		日本語ネイティブスピーカー		英語スピーカー			英語スピーカー					
海外営業	200	250	370	210	260	380	310	340	410	250	450	580	290	340	580
国内営業	180	200	340	190	210	360	270	280	340	250	280	450	250	270	580
商社(工業系)	200	250	370	210	260	380	310	340	410	340	410	470	270	370	440
品質保証	170	200	340	170	200	340	270	280	340	450	590	1,200	250	590	420
課長級	340	380	550	340	380	550	340	380	550	450	600	750	350	500	600
部長級	560	580	690	560	580	690	560	580	690	720	880	1,150	750	850	950
役員級	700	780	830	700	780	830	700	780	830	750	1,500	3,400	750	1,250	2,300



KOREA

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



韓国

1.8 兆

US\$ GDP

34,767

US\$ 一人当たり GDP

71.5%

大学進学率

(2021)

3.8%

消費者物価上昇率

(2023 IMF)

経済動向

名目GDP：2兆米ドル。

実質GDP 成長率：4.1% (2021年)。2.6% (2022年)。2.0% (2023年)。

1人当たり名目GDP：34,767米ドル (2023年)。

消費者物価上昇率：2.5% (2021年)。5.5% (2022年)。3.8% (2023年)。

対内直接投資 (FDI)：2022年 (1~9月) は申告ベースで215億ドルとなり、前年比で+18.1%で過去最高の申告額となった。産業別では、半導体や二次電池、電気自動車などの大幅投資が影響した。国別では米国がR&D拠点の新設や増設で+115%、日本が+42%と増加した一方で、EUは-54%、中華圏は-14%の減少となった。

企業 (全産業) の景況判断(BSI/韓国銀行)は、2020年5月で底を打ち、それ以降は回復傾向となったが、2021年第2四半期をピークに製造業を中心に減少傾向にある。

輸出依存度が高く、経済は輸出に影響されるため、輸出・輸入先ともに第1位の中国の政策・経済動向を注視する必要がある (米国は輸出・輸入先ともに第2位)。米中貿易摩擦の影響は大きい。日本は輸出先として第5位、輸入先として第3位である。

輸出全体の20%近くが半導体であるため、半導体事業の影響は大きい。現在、半導体製造装置の輸入が大幅に増加している。韓国企業のベトナム進出増により、貿易が拡大し、同国が輸出先として第3位、輸入先として第5位と存在感を示している。

総人口：5,156万人。雇用者数：2,871万人。（2023 IMF）

失業率：3.4%（2023 IMF）。青年層（15～29歳）の失業率は6.6%（2022年1月～10月）であり、7.8%（2021年）と比較すると改善されている。

採用動向

教育：2021年の大学など高等教育機関への進学率は71.5%。2020年対比で1.1ポイント増加しており微増となっている。韓国の大学進学率はOECD加盟国で極めて高い分類に入る。

言語：英語学習に熱心であり、英語力も高い。但し、就職目的でのTOEICのハイスコア取得を目指した学習が多く、必ずしもTOEICの点数と業務可能な英語力とは合致しないことが多いため、面接で英語スキルをチェックする必要がある。一般的な現地ビジネス上の言語は韓国語である。

新型コロナウイルスの影響により、2020年の求人件数は大きく減少したが2021年は急増し、2022年も約9%増と緩やかな増加傾向にある。



先進国内でも
高い大学進学率



比較的豊富な
日本語人材

選考の面接手法においては、海外に面接官がいるケースを除き、ほぼオフラインで面接が実施されており、新型コロナウイルスの影響はほぼなくなった。

2022年度も若手営業職の求人が引き続き多い。DXを進める会社も増え、IT技術者の求人も増加傾向である。会計職、人事職、事務サポート職の求人は堅調である。

韓国財閥大手会社の半導体事業に関わる会社は業績を維持または拡大しており、技術者の採用だけでなく、間接部門に至るまで採用職種は多岐に広がり始めていたが、2023年度はやや先行きが不透明となっている。二次電池関連の事業を展開する会社も採用に積極的である。国内消費低迷の影響で、一般消費者向けビジネスを展開する一部の企業は苦戦しており、オンラインによる販売量を増やすため、EC サイトやオンラインマーケティングの経歴者の外部採用は需要がある。

医療機器を含むメディカル業界は国内営業やRA（薬事規制）の求人が出てきている。IT業界は業界の経歴者に加え、ソリューションやソフトウェアの販売先の勤務経歴を求めるケースもある。金融、建設、物流業界に属する会社は同業で勤務経歴を持つ人材に注目している。サービス業は管理職や管理職候補の求人が比較的多い。

2022年も昨年に続き、事業拡大を背景とした採用案件が増加した。

経営現地化や経営陣の切り替えを目的とした幹部（理事、部長職）の採用需要はやや減少気味である。

外国人就労規制：他国と比較すると、就業ビザ取得はやや難しい。

日本語スピーカー：日系会社は韓国人応募者にビジネス日本語（上級レベル）を求めることが多い。近年は顧客の多様化（日系企業でない顧客）や第三国にある工場とのコミュニケーションが多く発生するため、日本語力に加え一定の英語力も必要とする求人が増加傾向にある。

日本人：韓国には韓国人日本語スピーカーが多いため、外国人である日本人を採用する必然性が少ないため、他アジア諸国に比べ、日本人の現地採用は極めて少ない。

設立直後の企業や従業員数が少ない企業は離職率が総じて高い。ミスマッチを互いに防ぐため、代表理事や人事責任者だけでなく、配属部署のマネージャーも面接することが望ましい。

新卒給与の見直しや、ソウル郊外や地方都市の会社が住宅支援制度を作り、採用に成功した事例がみられる。

JAC Recruitmentの調査によると、求職者の志向がウォラベル（ワークライフバランス）重視へと引き続き変化がみられる。

給与動向

2022年1～8月の名目賃金上昇率は5.2%増（2021年対比）となった。※2021年の名目賃金上昇率は4.6%増。

日系企業の2022年度実績平均値（予定を含む）は4.5%程度で、前年よりも伸び率が上昇した（JAC Recruitment調べ）。2023年は物価高の影響もあり、さらに伸びる動機があるとみている。

近年、CPI（消費者物価指数）が1%前後（2020年は0.5%）と低迷し、賃金上昇率鈍化の要因の一つであったが、2021年は2.5%と上昇し、2022年は5%を超える見込みである。欧米系外資企業は総じて給与上昇率がやや高い傾向があるが、実際は各社ごとの業績によってばらつきが大きい。

物価高や最低賃金の上昇から、新卒および若手の給与水準の上昇が継続している。

求職者の55%が転職時に給与を現職（離職者の場合は前職）より上げたいと考えており、その希望上昇幅は10%アップが最も多い（JAC Recruitment 調べ）。

2022年度基準で公務員の月額給与は1,686,500ウォン（9級1号棒）～7,140,900ウォン（1級22号棒）（17～73万円相当）／月程度。

法定最低賃金（時給）：9,620ウォン（2023年1月～）。前年比+5.0%の上昇。前年の上昇率は+5.0%、前々年+1.5%であった。9,620ウォンは995円相当（2022年11月時点）であり、日本の東京、神奈川、大坂を除く地域より高い水準となっている。最低賃金は全国一律ですべての業種に対し同一金額が適用される。

“

2022年は後半にかけてウィズコロナが浸透し、採用活動も活発化しました。
物価上昇に伴い、賃金上昇が目立ちます。

”



凡例 >>

下	最頻	上	前年比	1万ウォン = 1,000円 (単位:万ウォン/年)
4,800	6,400	7,700	+4%	

管理部門

経理職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	2,900	4,400	5,800	+4%	3,100	4,700	6,200	+4%
課長級	4,500	6,000	7,100	+4%	4,800	6,400	7,700	+4%
部次長級	5,700	7,800	9,500	+3%	6,200	8,500	10,500	+3%
役員級	8,600	11,500	14,000	+2%	8,800	13,100	17,000	+2%

人事職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	2,900	4,400	5,800	+4%	3,100	4,700	6,200	+4%
課長級	4,500	6,000	7,100	+4%	4,800	6,400	7,700	+4%
部次長級	5,700	7,800	9,500	+3%	6,200	8,500	10,500	+3%
役員級	8,600	11,000	13,000	+2%	8,800	12,600	16,000	+2%

総務職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
秘書・アシスタント・総務庶務	2,800	3,800	4,600	+3%	2,900	4,000	5,100	+3%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比	1万ウォン = 1,000円 (単位: 万ウォン/年)
4,800	6,400	7,700	+4%	

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	2,800	4,100	6,300	+3%	3,000	4,800	6,600	+3%
課長級	4,400	5,400	7,100	+3%	5,000	6,400	7,600	+3%
部次長級	4,900	7,100	9,100	+2%	6,300	8,600	10,800	+2%
役員級	8,100	10,700	13,000	+2%	9,600	13,000	16,000	+2%

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	3,600	5,200	7,000	+4%	3,900	5,700	7,300	+4%
課長級	6,000	7,200	8,000	+4%	6,500	7,600	8,400	+4%
部次長級	6,900	9,300	11,300	+3%	7,400	9,900	12,000	+3%
役員級	10,400	12,900	15,000	+2%	10,600	15,000	19,000	+2%

IT業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	3,400	4,700	5,600	+4%	3,700	5,500	7,200	+4%
課長級	6,500	6,800	6,700	+4%	6,400	7,800	8,700	+4%
部次長級	7,700	9,200	10,300	+3%	7,500	10,700	13,300	+3%
役員級	11,000	12,700	14,000	+2%	10,700	15,600	20,000	+2%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比	1万ウォン = 1,000円 (単位:万ウォン/年)
4,800	6,400	7,700	+4%	

製造業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	3,000	4,800	6,600	+4%	3,200	5,000	7,000	+4%
課長級	5,200	6,600	7,700	+4%	5,200	6,900	8,200	+4%
部次長級	5,700	8,500	11,000	+3%	6,300	9,300	12,000	+3%
役員級	9,100	12,700	16,000	+2%	9,100	13,700	18,000	+2%

マニュファクチャリング系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	3,000	4,800	6,600	+4%	3,200	5,000	7,000	+4%
課長級	5,200	6,600	7,700	+4%	5,200	6,900	8,200	+4%
部次長級	5,700	8,500	11,000	+3%	6,300	9,300	12,000	+3%
役員級	9,100	12,700	16,000	+2%	9,100	13,700	18,000	+2%



凡例 >>

下	最頻	上	前年比	1万ウォン = 1,000円 (単位: 万ウォン/年)
4,800	6,400	7,700	+4%	

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	2,900	4,400	5,800	+3%	3,000	4,500	6,000	+3%
課長級	4,800	6,300	7,600	+3%	5,000	6,500	8,000	+3%
部次長級	5,400	7,700	9,800	+2%	6,000	8,300	10,500	+2%
役員級	7,700	10,500	13,000	+2%	8,500	12,400	16,000	+2%

物流業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	2,700	4,300	6,100	+3%	2,800	4,400	6,200	+3%
課長級	4,000	5,500	6,900	+3%	4,000	5,500	6,900	+3%
部次長級	4,900	6,900	8,700	+2%	5,100	7,000	8,800	+2%
役員級	7,100	9,600	12,000	+2%	7,500	10,900	14,000	+2%

金融業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
		日本語スピーカー				英語スピーカー		
非管理職級	3,600	5,200	6,800	+3%	3,800	5,400	7,300	+3%
課長級	6,500	7,400	8,000	+3%	6,700	7,800	8,500	+3%
部次長級	7,300	9,700	12,000	+2%	7,600	10,400	12,900	+2%
役員級	12,600	15,000	17,000	+2%	11,900	15,700	19,000	+2%

JAPAN

給与表はデジタルでご覧ください

下記リンク先に、業種、職種、職位、資本（言語）毎の年収データがあります。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



日本

4.4 兆

US\$ GDP

35,034

US\$ 一人当たり GDP

1.2 億

人口

1.4%

消費者物価上昇率
(2023 IMF)

経済動向

名目GDP：4.4兆米ドル。

実質GDP 成長率：1.7% (2021年)。1.7% (2022年)。1.6% (2023年)。

一人当たりGDP：39,243米ドル。

消費者物価上昇率：2.0% (2022年)。1.4% (2023年)。

総人口：1.25億人。

雇用者数：6,754万人。

失業率：2.6% (2022年)。2.4% (2023年)。

2012年12月から始まった戦後2番目の長さの景気回復期間は、米中貿易摩擦などを背景に2018年10月で終了した。以降下降期間に入った景気は、コロナの第1回緊急事態宣言の終わりである2020年5月を底として回復傾向にある。



IT / DX 系人材への
強い需要



幹部人材への強い需要

2022年はオミクロン株の拡大の影響を受けたが、経済活動は継続されており、出入国の規制も22年秋に大幅に緩和された。2023年は、米国のテーパリング（リーマンショック以後続いてきた金融緩和の縮小）と日本銀行のテーパリング、インフレーション、世界的な景気後退の可能性が懸念されている。

採用動向

言語・教育：大学進学率は57%と過去最高記録を更新した。英語は小学校高学年から高等学校までの8年間、ほぼ全員が教育を受けている。しかしビジネス上の即戦力レベルの英語力を持つ人材の比率は世界でも最低レベルに近い。ビジネスは基本的に日本語で行われている。

外国人就労規制：外国人ホワイトカラーへの就労規制は以前から非常に緩く、加えて、高度人材ポイント制の拡大を含め、更なる規制緩和の方向にある。

2020年は企業の選考・採用に対する慎重姿勢が目立ったが、2021年には採用意欲もコロナ前に戻り、2022年は過去最高の新規求人数を更新している。

前述の通りFRBおよび日本銀行の金融引き締め（テーパリング）による世界及び国内の景気先行きは大きな懸念事項となっはいるが、ホワイトカラー中途採用市場においては（2023年初時点では）一部を除き活況が続いており、拡大傾向にある。

ここ数年間、当地では日系企業の海外事業向け要員の採用ニーズが増加している。製造業だけでなく、近年はサービス業、特にIT業界のアジア進出に伴う中途採用ニーズも高い。求人増に合わせて、海外勤務経験者の採用が増えている。駐在員の交替要員やそのプール人材として、また国内各部門において海外子会社に適切な支援を提供できる「海外事情通」の人材としても重用されている。日本のJAC Recruitmentにおける「海外勤務経験者」の紹介決定数は近年増加傾向にある。特に2022年は、コロナ対策の進展により各国間の越境の自由度が高まったこともあり、コロナによる一時的な減少を乗り越えて、過去最高の採用ニーズとなっている。

従来は、日系企業は日系企業出身者、外資系企業は外資系企業出身者に加えて日系企業出身者を採用するという傾向だったが、近年日系企業による外資系企業出身者の採用も徐々に増加し、外資系企業出身者の採用競争は一層活発化している。

40代以上の中途採用市場も従来に比べて大きく活性化している。地方企業の海外事業／事業承継などを含む幹部人材や、女性管理職の採用も活発化している。コーポレートガバナンス強化に伴い、社外取締役を採用するケースも目立っている。

近年、特に製造業では、海外展開・M&Aや新事業のために、1,200～2,000万円程度の部門長クラス、役員候補の求人が増えている。

給与動向

2022年の採用市場はコロナ前の2019年を上回る活況で、給与の高額化は続いた。年収800万円以上の転職決定（JAC Recruitment実績）は9年前の5倍に増加した。

一般的に首都圏と関西圏で同ポジションの給与を比較した場合、家賃やその他生活費の差もあり、10～20%程度の差があることが多い。しかし地方圏に行くほど優秀な人材を見つけるのは困難で、希少な人材を巡り給与が高騰する要素もある。

英語スピーカー：日系企業のグローバル化に伴い、同レベルの人材の場合、日英バイリンガルの給与は10～20%以上高くなる傾向がある。

外資系企業の給与は日系企業に比べ20～30%増となる傾向がある（業界によっては50～100%増）。ただし日系企業は日本では社宅などの福利厚生面で外資系企業に優る傾向がある。

“

日本企業の CxO など幹部採用が活発であり、
加えて事業のデジタル化に伴うポジションの
採用拡大が急速に進んでいます。

”

転職時の給与オファー金額は、日系企業の年功型給与に大きな影響を受けている場合が多い。すなわち、転職時の給与は、前職の給与と同額となるケースが多い。経験年数（年齢）に大きく影響される傾向もある。ただし、IT、コンサルティング、金融、ライフサイエンスなどの外資系企業の存在感が強く、スキルの専門性の高い業界では、年功的な給与テーブルを超えた金額をオファーする仕組みを持つ企業も多い。

公務員の給与は300～700万円／年程度である。

工場労働者・店員の給与は300～400万円／年程度である。

法定最低賃金（東京都）：1,072円／時（2022年10月～）。上昇率は2.98%。この上昇率は、バブル崩壊後の1994年以降、2008年から2010年の3年間を除き、最高の上昇率となっている。背景には消費者物価の上昇がある。



凡例 >

下	最頻	上	前年比
1,200	1,800	4,000	+1%

1万円 = 75米ドル

(単位：万円 / 年)

管理部門

経理職

ポジション	日系企業				外資系企業			
非管理職級	400	600	1,100	+1%	450	700	1,100	+1%
課長級	500	700	1,400	+1%	600	1,000	1,500	+1%
部長級	600	900	2,000	+1%	800	1,200	2,000	+1%
役員級	800	1,200	3,000	+1%	1,200	1,800	4,000	+1%

人事職

ポジション	日系企業				外資系企業			
採用	400	600	900	+1%	500	700	1,000	+1%
教育研修・組織開発	400	600	1,000	+1%	500	600	1,000	+1%
制度・給与と社保	400	500	800	+1%	500	600	800	+1%
課長級	500	700	1,200	+1%	700	900	1,300	+1%
部長級	700	1,000	1,500	+1%	800	1,000	1,700	+1%
役員級	1,000	1,200	3,500	+1%	1,200	1,500	3,500	+1%

総務職

ポジション	日系企業				外資系企業			
秘書・アシスタント・総務庶務	400	500	600	+1%	400	500	700	+1%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
1,200	1,800	4,000	+1%

1万円 = 75米ドル

(単位：万円 / 年)

金融業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
リテール営業	500	600	1,000	+1%	500	600	1,000	+1%
事業法人営業	500	800	1,200	+1%	600	900	1,500	+1%
課長級	600	800	1,400	+1%	800	1,000	1,600	+1%
部長級	900	1,000	1,500	+1%	1,000	1,500	2,500	+1%
役員級	1,200	1,500	3,000	+1%	1,500	2,000	4,000	+1%

金融系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
合併／買収	600	800	1,200	+1%	600	800	1,200	+1%
ファンドマネージャー	600	800	1,400	+1%	600	800	1,200	+1%
リスク管理	600	800	1,500	+1%	600	800	1,500	+1%
プライベートエクイティ	600	800	1,500	+1%	600	800	1,500	+1%
課長級	600	800	1,500	+1%	800	1,000	1,600	+1%
部長級	800	1,200	2,000	+1%	1,000	1,400	2,000	+1%
役員級	1,000	1,500	4,000	+1%	1,000	2,000	5,000	+1%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
1,200	1,800	4,000	+1%

1万円 = 75米ドル
(単位：万円 / 年)

コンシューマーグッズ業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	最頻	最頻	上	前年比	最頻	最頻	上	前年比
非管理職級	400	500	800	+1%	500	600	1,000	+1%
課長級	500	700	1,100	+1%	600	800	1,100	+1%
部長級	700	1,000	1,500	+1%	900	1,200	1,600	+1%
役員級	1,000	1,200	3,000	+1%	1,200	1,500	4,000	+1%

コンシューマーグッズ系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	最頻	最頻	上	前年比	最頻	最頻	上	前年比
プロダクトマネージャー/ ブランドマネージャー	400	600	1,000	+1%	500	700	1,100	+1%
マーチャンダイザー	400	600	1,000	+1%	400	600	1,000	+1%
購買	400	500	900	+1%	500	600	900	+1%
課長級	600	800	1,200	+1%	600	900	1,500	+1%
部長級	700	1,000	2,000	+1%	800	1,200	2,000	+1%
役員級	800	1,200	4,000	+1%	1,000	1,500	5,000	+1%

サービス業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	最頻	最頻	上	前年比	最頻	最頻	上	前年比
非管理職級	400	600	1,000	+1%	500	600	1,000	+1%
課長級	500	700	1,200	+1%	600	700	1,200	+1%
部長級	700	1,000	1,500	+1%	800	1,200	2,000	+1%
役員級	900	1,000	3,000	+1%	1,200	1,500	4,000	+1%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
1,200	1,800	4,000	+1%

1万円 = 75米ドル
(単位: 万円 / 年)

ヘルスケア業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	下	最頻	上	前年比	下	最頻	上	前年比
医薬情報担当者	500	600	900	+1%	600	800	1,200	+1%
医療機器営業	500	600	800	+1%	500	600	1,000	+1%
課長級	500	800	1,200	+1%	700	1,000	1,500	+1%
部長級	800	1,000	1,500	+1%	1,000	1,300	2,000	+1%
役員級	1,000	1,500	3,000	+1%	1,200	2,000	4,000	+1%

ヘルスケア系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	下	最頻	上	前年比	下	最頻	上	前年比
治験コーディネーター	400	500	600	+1%	400	500	600	+1%
臨床開発モニター ～プロジェクトマネージャー	400	450	600	+1%	400	600	900	+1%
薬事申請	450	700	1,100	+1%	500	800	1,200	+1%
データマネジメント	400	600	1,000	+1%	500	700	1,100	+1%
課長級	500	800	1,500	+1%	600	1,000	2,000	+1%
部長級	800	1,000	1,800	+1%	1,000	1,500	2,500	+1%
役員級	1,000	1,200	4,000	+1%	1,200	1,800	5,000	+1%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
1,200	1,800	4,000	+1%

1万円 = 75米ドル

(単位：万円 / 年)

IT 業界

営業職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	最頻	最頻	上	前年比	最頻	最頻	上	前年比
非管理職級	500	700	1,200	+1%	600	1,000	2,000	+1%
課長級	600	800	1,500	+1%	800	1,200	2,000	+1%
部長級	700	1,000	2,000	+1%	1,000	1,500	3,000	+1%
役員級	800	1,200	4,000	+1%	2,000	2,500	5,000	+1%

IT 系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
	最頻	最頻	上	前年比	最頻	最頻	上	前年比
IT コンサルタント	500	800	1,500	+1%	500	1,000	2,000	+1%
プロジェクトマネージャー	500	1,000	2,000	+1%	600	1,200	2,000	+1%
SE	400	800	2,000	+1%	600	900	2,000	+1%
テクニカルサポート	400	700	1,200	+1%	500	800	1,200	+1%
ネットワークエンジニア	500	800	1,500	+1%	500	900	1,500	+1%
課長級	600	900	1,500	+1%	600	900	2,000	+1%
部長級	700	1,000	2,500	+1%	900	1,200	2,500	+1%
役員級	1,000	1,200	4,000	+1%	1,200	1,500	5,000	+1%



凡例 >

下	最頻	上	前年比
1,200	1,800	4,000	+1%

1万円 = 75米ドル
(単位: 万円 / 年)

製造業界

営業職

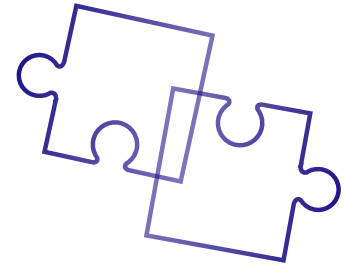
ポジション	日系企業				外資系企業			
海外営業	400	600	1,100	+1%	500	700	1,100	+1%
国内営業	400	600	1,000	+1%	400	700	1,100	+1%
課長級	500	800	1,300	+1%	600	1,000	1,600	+1%
部長級	800	1,000	1,600	+1%	800	1,200	2,000	+1%
役員級	1,000	1,200	4,000	+1%	1,000	1,500	5,000	+1%

マニュファクチュアリング系専門職

ポジション	日系企業				外資系企業			
品質管理・品質保証	400	600	900	+1%	400	600	1,000	+1%
サービスエンジニア	400	500	800	+1%	400	600	900	+1%
セールスエンジニア	400	600	900	+1%	450	700	1,000	+1%
アプリケーションエンジニア	450	600	1,000	+1%	500	700	1,200	+1%
プラントエンジニア	400	600	1,100	+1%	500	700	1,100	+1%
機械／機構／筐体／メカトロ設計	400	600	1,100	+1%	500	700	1,100	+1%
施工管理 (建築・土木)	400	600	1,000	+1%	500	700	1,000	+1%
課長級	500	700	1,200	+1%	600	800	1,300	+1%
部長級	600	800	1,500	+1%	800	1,200	2,000	+1%
役員級	900	1,200	5,000	+1%	1,000	1,500	5,000	+1%

JAC Group について

1975年、英国初の日系人材紹介会社として誕生した JAC Group は、英国、ドイツ、シンガポール、日本、マレーシア、インドネシア、タイ、中国（香港）、韓国、ベトナム、インド、米国の全 28 拠点で人材紹介事業を展開しております。今日ではそれぞれの土地に強く根差した、国際的なリクルートメントコンサルタンシーとして広く認知されています。



フィードバックと読者登録のお願い

本レポートは、アジア最大級の日系人材紹介会社 JAC Group の知見により作成されておりますが、内容ならびに見やすさの向上の両面において、読者の皆様からのフィードバックが大変重要なものと考えております。つきましては、下記の URL から、本レポートについてのフィードバックをいただけますと大変幸いです。

また、本レポートについての修正情報や次年度の発行情報などについて、今後はフォローアップ情報をお送りさせていただきたく、下記 URL から e-mail アドレスで読者登録をお願いいたします。



corp.jac-recruitment.jp/sa/



JAC Group 拠点所在地

シンガポール

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.sg
 1 Raffles Place, #42-01
 One Raffles Place, Tower 1
 Singapore 048616
 Tel: +65 6224 6864
singapore@jac-recruitment.sg

マレーシア

クアラルンプール
 JAC Recruitment
www.jac-recruitment.my
 BO2-A-12-1 Level 12
 Menara 3, KL Eco City
 No. 3 Jalan Bangsar
 59200 Kuala Lumpur
 Tel: +60 (0) 3 2202 1000
kualalumpur@jac-recruitment.my

ペナン

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.my
 Unit 12-05, Level 12
 Menara IJM Land
 Lebu Tunku Kudin 3
 11700 Gelugor, Penang
 Tel: +60 (0) 4 296 0610
penang@jac-recruitment.my

ジョホール

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.my
 Suite No.23A.06A, Level 23A
 Johor Bahru City Square
 Jalan Wong Ah Fook
 80000 Johor Bahru, Johor
 Tel: +60 (0) 7 278 1122
johor@jac-recruitment.my

インドネシア

ジャカルタ
 JAC Recruitment
www.jac-recruitment.co.id
 Millennium Centennial Center
 6th Floor
 Jl. Jend. Sudirman Kav. 25
 Jakarta Selatan 12920
 Tel: +62 21 3970 3646
jakarta@jac-recruitment.co.id

JAC Consulting
www.jac-consulting.co.id
 Millennium Centennial Center
 6th Floor
 Jl. Jend. Sudirman Kav. 25
 Jakarta Selatan 12920
 Tel: +62 21 3970 3677
indonesia@jac-consulting.co.id

JAC Outsourcing
www.jac-outsourcing.co.id
 Millennium Centennial Center
 6th Floor
 Jl. Jend. Sudirman Kav. 25
 Jakarta Selatan 12920
 Tel: +62 21 3970 3663
indonesia@jac-outsourcing.co.id

タイ

バンコク
 JAC Recruitment
www.jac-recruitment.co.th
 10F Emporium Tower
 622 Sukhumvit Soi 24
 Klongton, Klongtoey,
 Bangkok 10110
 Tel: +66 (0)2 261 1270
bangkok@jac-recruitment.co.th

イースタンシーボード (チョンブリ)

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.co.th
 5th Floor, Harbor Mall, 4/222 Moo 10
 Sukhumvit Road, Tambol Tungsukla
 Amphur Sriracha, Chonburi 20230
 Tel: +66 (0)38 491 556
easternseaboard@jac-recruitment.co.th

ベトナム

ホーチミン
 JAC Recruitment
www.jac-recruitment.vn
 Floor 19, Doji Tower
 81-83-83B-85 Hàm Nghi
 District 1, Ho Chi Minh City 700000
 Tel: +84 28 3821 7730
hochiminhcity@jac-recruitment.vn

ハノイ

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.vn
 15th Floor, Prime Center
 53 Quang Trung
 Hai Ba Trung District, Hanoi 100000
 Tel: +84 24 3633 2115
hanoi@jac-recruitment.vn

インド

デリー NCR
 JAC Recruitment
www.jac-recruitment.in
 508, 5th Floor, Time Tower
 MG Road, Gurgaon, Haryana 122002
 Tel: +91 124 417 4330
gurgaon@jac-recruitment.in

バンガロール

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.in
 WeWork Galaxy, 43 Residency Road
 Shanthala Nagar, Ashok Nagar
 Bengaluru, Karnataka 560025
 Tel: +91 124 417 4330
india@jac-recruitment.in

JAC Group 拠点所在地

中国

香港特別行政区

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.hk
Level 16, Lee Garden Two
28 Yun Ping Road
Causeway Bay, Hong Kong
Tel: +852 2585 6700
hongkong@jac-recruitment.hk

韓国

ソウル

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.kr
#615, East Wing Hanshin Intervalley 24
Teheran-ro 322
Gangnam-gu, Seoul 06211
Tel: +82 (0) 2 2183 0511
seoul@jac-recruitment.kr

英国

ロンドン

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.co.uk
2nd Floor, 64 London Wall
London EC2M 5TP
Tel: +44 (0) 20 7382 2400
london@jac-recruitment.co.uk

ドイツ

デュッセルドルフ

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.de
Berliner Allee 47
40212 Düsseldorf
Tel: +49 (0) 211 9425 480
dusseldorf@jac-recruitment.de

フランクフルト

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.de
Baselerstr.10
60329 Frankfurt am Main
c/o Tribes
Tel: +49 151 6785 3546
frankfurt@jac-recruitment.de

米国

ロサンゼルス

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.us
360 N. Pacific Coast Highway
Suite 2000
El Segundo, CA 90245
Tel: +1 323 489 5905
losangeles@jac-recruitment.us

JAC Group 拠点所在地

日本

東京

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 101-0051
 東京都千代田区神田神保町 1-105
 神保町三井ビルディング 14 階
 Tel: +81 (0) 3 5259 6924
 (Business Support Division)
 Tel: +81 (0) 3 5259 9221 (Main)

JAC International
www.jac-international.jp
 〒 101-0051
 東京都千代田区神田神保町 1-105
 神保町三井ビルディング 14 階
 Tel: +81 (0) 3 5259 9881

CareerCross
www.careercross.com
 Jinbocho Mitsui Bldg. 15F
 1-105 Kanda Jinbocho
 Chiyoda-ku Tokyo 101-0051
 Tel: +81 3 5217 3900
info@careercross.com

VantagePoint
www.vpointcareers.com
 Roppongi Hills North Tower 3F
 6-2-31 Roppongi, Minato-ku
 Tokyo 106-0032
 Tel: +81 3 5413 4433
info@vpointcareers.com

北関東

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 330-8669
 埼玉県さいたま市大宮区
 桜木町一丁目 7 番地 5
 ソニックシティビル 20 階
 Tel: +81 (0)48 631 0830

横浜

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 220-0011
 神奈川県横浜市西区
 高島 2-19-12
 スカイビル 18 階
 Tel: +81 (0) 45 285 7021

名古屋

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 450-0002
 愛知県名古屋市中村区名駅 4-8-18
 名古屋三井ビルディング北館 15 階
 Tel: +81 (0) 52 589 4861

静岡

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 420-0857
 静岡県静岡市葵区御幸町 11 番地 30
 エクセルワード静岡ビル 4 階
 Tel: +81 (0) 54-205-3841

大阪

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 530-0001
 大阪府大阪市北区梅田 2-2-2
 ヒルトンプラザウエスト
 オフィスタワー 12 階
 Tel: +81 (0) 6 4799 1911

京都

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 600-8411
 京都府京都市下京区烏丸通四条下ル
 水銀屋町 620 番地
 COCON 烏丸 4 階
 Tel: +81 (0) 75 342 6221

神戸

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 651-0086
 兵庫県神戸市中央区磯上通 8-3-10
 井門三宮ビル 10 階
 Tel: +81 (0) 78 262 9221

中国

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 732-0053
 広島県広島市東区若草町 12 番 1 号
 アクティブインターシティ広島 8 階
 Tel: +81 (0) 82 568 6921

福岡

JAC Recruitment
www.jac-recruitment.jp
 〒 812-0012
 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8-1
 JRJP 博多ビル 3 階
 Tel: +81 (0) 92 233 6990

ザ・サラリーアナリシス イン アジア

アジア 9 か国の中途採用時年収調査

発行 JAC Group
監修 The Salary Analysis コミッティー (JAC Group)
編集長 プリンシパルアナリスト 黒澤敏浩 (JAC Recruitment - Japan)
発行日 2023年4月5日
第1版
お問い合わせ先 JAC Recruitment Co., Ltd. (Japan)
Business Promotion Division
+81 (0) 3-5259-2490
© 2023 JAC Group

[非売品]